

平成27年3月予算特別委員会目次

◎ 第1日（2月25日開会）

1. 議事日程	1
2. 出席議員	1
3. 欠席議員	1
4. 出席説明員	1
5. 出席事務局職員	2
開会	3
散会	14

◎ 第2日（3月13日再開）

1. 議事日程	15
2. 出席議員	15
3. 欠席議員	15
4. 出席説明員	15
5. 出席事務局職員	16
再開	17
散会	64

◎ 第3日（3月16日再開）

1. 議事日程	65
2. 出席議員	65
3. 欠席議員	65
4. 出席説明員	65
5. 出席事務局職員	66
再開	67
閉会	102

1 議 事 日 程

[平成27年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成27年2月25日

午前 11 時 20 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第28号 平成27年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第29号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第30号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第31号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第5 議案第32号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第6 議案第33号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について
日程第7 議案第34号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について
日程第8 議案第35号 平成27年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第9 議案第36号 平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（17名）

委員長	門田直樹	議員	副委員長	原田久美子	議員
委員	陶山良尚	議員	委員	神武綾	議員
〃	上 疆	議員	〃	芦刈茂	議員
〃	小 畠 真由美	議員	〃	長谷川 公 成	議員
〃	藤 井 雅 之	議員	〃	後 藤 邦 晴	議員
〃	不 老 光 幸	議員	〃	渡 邊 美 穂	議員
〃	小 柳 道 枝	議員	〃	佐 伯 修	議員
〃	村 山 弘 行	議員	〃	福 廣 和 美	議員
〃	橋 本 健	議員			

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（19名）

市長	井上保廣	副市長	平島鉄信
教育長	木村甚治	総務部長	濱本泰裕
地域健康部長	古川芳文	市民福祉部長	中島俊二
建設経済部長	辻友治	上下水道部長	松本芳生
教育部長	堀田徹	会計管理者	今泉憲治
総務課長	友田浩	経営企画課長	山浦剛志
地域づくり課長	藤田彰	市民課長	田村幸光
国保年金課長	永田宰	都市計画課長	今村巧児

社会教育課長 井 上 均

上下水道課長 石 田 宏 二

監査委員事務局長 渡 辺 美知子

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長 篠 原 司

議事課長 櫻 井 三 郎

書 記 山 浦 百合子

開会 午前11時20分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は、各会計の概要説明とし、各委員からの質疑は3月13日、16日、17日及び18日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第28号 平成27年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第1、議案第28号「平成27年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（濱本泰裕） 議案第28号「平成27年度太宰府市一般会計予算について」ご説明させていただきます。

平成27年度につきましては、先ほど市長が提案理由説明で申し上げましたとおり、4月に市長選挙が予定されておりますことから、新規事業や政策的事業を除く、いわゆる骨格予算として編成しております。

また、編成に当たりましての基本的な考え方につきましては、市長が申し上げましたように、事務事業を効率的・効果的に推進するため、経費全般につきまして節減、合理化を図りまして、限られた財源の有効活用に努めたところでございます。

それでは、お手元にお配りしております当初予算説明資料に沿ってご説明をさせていただきます。

1 ページをお開きください。

ここに予算総括表と、下段に5年間の当初予算額の推移をグラフとして掲載しております。

一番上の網かけ部分が一般会計となっております。網かけの部分ですが、平成27年度の一般会計予算総額は241億7,019万円となっております。前年度の当初予算と比較いたしますと、15億1,330万9,000円の増額、伸び率でいいますと6.7%の増となっております。先ほど平成27年度は骨格予算と申し上げましたが、前年度からの継続事業であります体育複合施設整備事業費の約20億円が含まれておりますので、予算総額といたしましては、過去最大の予算規模となっております。これ以下は、特別会計となっておりますので、後ほど各担当部長からご説明させていただきます。

次に、2 ページに歳入の款別内訳を載せております。

まず、1 款市税ですが、市税全体としましては総額77億8,496万円を計上しております。前年度と比較いたしますと2,657万円の減、率にいたしますと0.3%の減となっております。

市税の内訳につきましては、次の3 ページに載せておりますが、法人市民税が税制改正の影響などによりまして、前年度に比べますと5,237万4,000円、11.7%の減を見込んでおります。

また、固定資産税につきましては、平成27年度が3年に1度の評価がえの年度となっておりますことから、2,420万7,000円、0.8%の減を見込んでおります。

また、2ページに戻っていただきまして、6款地方消費税交付金でございますが、平成27年度は消費税率の引き上げの効果が平年化したことから、前年度と比較いたしまして1億2,000万円、16.4%の増を見込んでおります。

次に、10款地方交付税でございます。地方交付税につきましては国において策定されます地方財政対策を勘案して算定しておりますが、平成27年度の地方財政対策では地方交付税全体として前年度比0.8%の減とされております。このことから、本市の地方交付税は平成26年度の決算見込み額をもとに算出した結果、普通交付税が前年度当初予算と比較いたしまして500万円、0.2%の減、同じく特別交付税が5,000万円、14.3%の増で見込んでいますところがございます。

次に、14款国庫支出金でございますが、前年度から1億7,459万8,000円、4.3%の増となっております。これは体育複合施設整備事業や水城跡整備事業の財源となる国庫補助金の増によるものでございます。

次に、18款繰入金でございますが、体育複合施設整備事業の推進に伴い、総合運動公園整備基金を繰り入れたことなどによりまして、前年度より4億9,538万7,000円、130.1%の増となっております。

なお、平成27年度につきましても、当初予算で財源不足の補てんとしての財政調整資金の繰り入れは行っておりません。

次に、21款市債でございますが、前年度と比較いたしますと19.2%の増、37億1,800万円で、前年度より5億9,840万円の増となっております。

増額の主な理由といたしましては、平成26年度からの継続事業であります体育複合施設整備事業の財源となる市債を13億1,480万円計上させていただいたことなどによるものでございます。

なお、その他の市債につきましては、史跡地公有化事業債が10億円、道路橋梁事業債が1億4,880万円、コミュニティ無線整備事業債が4,990万円などとなっております。

また、地方交付税の財源不足を補てんする臨時財政対策債につきましては、地方財政対策を勘案いたしまして、前年度より7,300万円、6.8%の減としております。

次に、4ページでございますが、今、申し上げました数字を自主財源、依存財源に分けまして、その内訳を示しております。

自主財源につきましては、基金繰入金の増に伴い、前年度から5億円ほど増額となっております。

また、依存財源につきましても、各種給付事業や投資的事業の増に伴いまして、その財源としての国庫支出金や市債などが増額となりましたことから、10億1,275万6,000円、7.7%増加しております。

次に、歳出のご説明をさせていただきます。

5 ページに歳出の目的別内訳を載せております。

民生費につきましては、総合子育て支援施設整備事業が平成26年度で完了したことなどによりまして4億1,259万4,000円、4.5%の減、また土木費につきましては歴史まちづくり関連事業の減額に伴いまして2億5,114万9,000円、12.6%の減となっております。

一方、教育費につきましては、体育複合施設整備事業、水城跡整備事業、中学校大規模改造事業などによりまして23億4,599万1,000円、75.3%の増となっております。

6 ページには、歳出の性質別内訳を載せております。

一番上が義務的経費となっております。このうち公債費につきましては、災害復旧事業債の一部の償還が終了したことなどによりまして9,869万3,000円、4.1%の減となっておりますが、扶助費につきましては、障がい者自立支援給付費、生活保護費などの増額や、保育所の定員増に伴います保育士賃金の増などによりまして2億6,493万8,000円、5.0%の増となっております。

次に、2 段目の消費的経費でございます。

物件費につきましては、統一地方選挙関係費、マイナンバー制度関係費などによりまして1億4,078万7,000円、4.4%の増となっておりますが、補助費等につきましては大野城太宰府環境施設組合負担金の減、また臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の減などによりまして3億3,764万2,000円、10.0%の減となっております。

次に、3 段目の投資的経費の中の普通建設事業費でございますが、体育複合施設整備費、水城跡整備事業費の増などによりまして14億631万1,000円、43.1%の増額となっております。

最後に、4 段目のその他の中の繰出金でございますが、国民健康保険事業特別会計繰出金及び後期高齢者医療関係費などが増額となった結果、1億3,753万6,000円、7.2%の増となっております。

歳出につきましては以上でございます。

なお、これ以降、7 ページから10 ページまでは、第五次太宰府市総合計画における目標別予算額及び目標ごとの主な事務事業につきまして、その事業内容等を掲載しておりますので、ご参照いただきますようよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、私のほうからのご説明とさせていただきます。

よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第29号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、議案第29号「平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 議案第29号「平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書の245ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は89億6,860万8,000円となり、前年度当初予算と比較しますと12億1,734万1,000円、率にしまして15.7%の増となっております。予算総額が大きく伸びました要因は、平成27年度から保険者間の再保険制度でございます保険財政共同安定化事業の対象医療費が全ての医療費に拡大されることによるものとなっております。

次に、250ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明をいたします。

1 款の国民健康保険税につきましては、平成25年度決算額及び平成26年度の調定、収納状況を参考としまして、高齢化などにより加入者の所得が伸びない中、被保険者数も微減傾向にありまして、前年度比1.8%減の15億2,868万3,000円を計上しております。

2 款国庫支出金につきましては、高齢化等による医療費の増などに伴い、前年度から2%増の22億1,530万9,000円を計上しております。

4 款前期高齢者交付金につきましては、65歳から74歳までの前期高齢者の偏在による負担を財政調整するため、被用者保険等から社会保険診療報酬支払基金を経由して市町村国保に交付されるもので、平成26年度の交付状況を勘案し、1.9%増の19億4,450万5,000円を計上しております。

5 款県支出金につきましては、保険財政共同安定化事業の拡大等により、40.7%の大幅増の5億4,951万7,000円を計上しております。

6 款共同事業交付金につきましては、共同事業に伴う福岡県国民健康保険団体連合会からの交付金でございまして、保険財政共同安定化事業の拡大により、前年度から115.8%と、大幅増の18億207万5,000円を計上しております。

次に、252ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明をいたします。

歳出の約6割を占めます2 款保険給付費につきましては、高齢化や医療技術の進歩に伴い医療費が増加しており、前年度から2.9%増の54億1,709万4,000円を計上しております。

3 款後期高齢者支援金等につきましては、75歳以上の後期高齢者医療に係る現役世代が負担する4割に相当するもので、前年度から4.1%増の9億8,839万2,000円を計上しております。

6 款介護納付金につきましては、国保加入者の40歳から65歳未満の介護保険第2号被保険者の介護保険料を納付するもので、前年度から0.1%増の3億8,796万円を計上しております。

7 款共同事業拠出金は、医療費に対します保険者間の財政負担の平準化を図るための拠出金でございますが、前年度から112%の大幅増の19億5,335万2,000円を計上しております。

国民健康保険事業は、高齢者や低所得者が多いという構造的課題を抱えており、現在開会中

の国会に提出が予定されております医療保険制度改革関連法案では、市町村国保を平成30年度から都道府県と共同運営にすることなどが盛り込まれております。依然として、国保事業は厳しい財政運営が続いておりますけれども、国の動向を十分に注視しながら、医療費の伸びの抑制につながるよう全庁的な健康づくりの推進及び医療費適正化を進めながら、国民健康保険事業の運営に努めてまいります。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第30号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、議案第30号「平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 議案第30号「平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書の287ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は10億6,536万1,000円となり、前年度当初予算と比較しますと2,450万9,000円、率にしまして2.4%の増となっております。

予算書の290ページをお願いいたします。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明いたします。

1款保険料につきましては、前年度と比べまして2%増の8億7,444万4,000円を計上しております。

3款繰入金につきましては、当該特別会計の事務費、広域連合の事務費負担金及び被保険者に適用されます保険料軽減額を保険基盤安定制度繰入金として一般会計から繰り入れるものでございまして、前年度から3.9%増の1億9,086万円を計上しております。

次に、同じページの下段の歳出でございまして、歳出のほとんどを占めます1款総務費につきましては、保険料、広域連合事務費負担金及び保険基盤安定制度繰入金の増額によりまして、前年度から2.4%増の10億5,931万1,000円を計上しております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第4 議案第31号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、議案第31号「平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 議案第31号「平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書の303ページをお願いいたします。

まず、保険事業勘定予算総額は45億1,393万7,000円となり、前年度当初予算と比較しますと0.5%、2,465万2,000円の増となっております。また、介護サービス事業勘定予算総額は3,357万8,000円となり、前年度当初予算と比較しますと、5.1%、161万6,000円の増となっております。

保険事業勘定につきまして309ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

1 款保険料につきましては、65歳以上の1号被保険者保険料9億9,116万2,000円で、被保険者数の増加を見込み、前年度と比べまして1,234万2,000円の増となっております。

3 款国庫支出金は、前年度より787万1,000円増の8億9,597万8,000円、4 款支払基金交付金につきましては各医療保険加入者の40歳から64歳までの2号被保険者保険料の交付金が主なものでございまして、448万7,000円増の12億4,365万4,000円を計上しております。

次に、7 款繰入金につきましては、383万7,000円減の7億3,097万円を計上しております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

310ページをお願いいたします。

1 款総務費につきましては、職員給与費、介護保険システム電算委託料及び介護認定審査調査等の予算としまして130万5,000円増の1億6,301万6,000円を計上しております。

2 款保険給付費は、歳出の約95%を占めておりますが、介護報酬の減額改定等により、対前年度比0.4%、1,832万9,000円増の42億7,833万8,000円を計上しております。

3 款地域支援事業費につきましては、506万8,000円増の6,886万2,000円を計上しております。

続きまして、介護サービス事業勘定につきまして347ページをお願いいたします。

歳入の主なものとしましては、1 款サービス収入はケアプラン作成に対します福岡県国民健康保険団体連合会からの介護予防サービス計画費収入の2,507万6,000円を計上しております。

次に、348ページの歳出でございますけれども、1 款総務費はケアマネージャーの嘱託職員賃金など3,164万9,000円を計上しております。

よろしくご審議賜りますようお願いを申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第32号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、議案第32号「平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸

付事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

地域健康部長。

○地域健康部長（古川芳文） それでは、議案第32号「平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書の355ページから367ページでございます。

まず、予算書の356ページから357ページをごらんください。

平成27年度歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ179万5,000円、対前年比2.22%の増、金額では3万9,000円の増額となっております。

次に、予算書358ページから359ページの事項別明細書をごらんください。

予算総額が増額となりました主な要因は、滞納整理のため住宅新築資金等貸付金審議会を開催するための委員報酬等でございます。

次に、予算書367ページをごらんください。

公債償還の現在高につきましては、平成25年度末で439万3,000円、平成26年度末で309万2,000円、平成27年度では137万2,000円を元金償還見込みといたしておりまして、平成27年度末では172万円となる見込みでございます。

なお、貸付金の償還向上につきましては、今後も個別の現状把握に努め、精力的に家庭訪問を行うなど、償還の促進と県との連絡調整を行いながら滞納者対策を図ってまいります。

以上、よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第6 議案第33号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第6、議案第33号「平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 議案第33号「平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

この特別会計は筑紫地区4市1町で共同設置をしております筑紫地区障害支援区分等審査会の事業予算でございまして、平成26年度から2年間、本市が事務局となっておりますことから、本特別会計予算を上程させていただいております。

本審査会では、障がいをお持ちの方が障がい福祉サービスを受給する際に障がいの多様な特性や心身の状態に必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すため、障害者総合支援法に基づき、障がい支援区分を決定しております。

それでは、予算書の369ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は、前年度当初予算に比べまして414万9,000円減の1,290万2,000円となっております。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

374ページをお願いいたします。

1 款分担金及び負担金の807万6,000円につきましては、4市1町からの負担金でございますが、平成27年度に各市町で見込まれます審査の対象件数をもとにした件数割と一律に負担する均等割を計上しております。平成27年度につきましては、本市が111件、筑紫野市146件、春日市156件、大野城市185件、那珂川町74件の総審査数672件を見込んでおります。

次に、2 款国庫支出金321万1,000円につきましては歳出予算のうち補助対象となります経費の2分の1を、7 款県支出金160万5,000円につきましては歳出予算のうち補助対象となります経費の4分の1を計上しております。

次に、376ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

1 款1 項総務管理費は、事務局の業務を行う嘱託職員の賃金、審査会システムの電算委託料、及び各市町間をつなぐ専用回線の使用料など634万4,000円を計上しております。

次に、1 款2 項審査会関係費につきましては、認定審査会委員の報酬及び費用弁償としまして605万8,000円を計上しております。

よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 議案第34号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第7、議案第34号「平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 議案第34号「平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

この特別会計は、筑紫地区4市1町で共同設置しております筑紫地区介護認定審査会の事業予算でございまして、2年交代で審査会の庶務を担当することとなっております。平成27年度から、これまでの大野城市さんから引き継ぎ、本市におきまして本特別会計予算を設けるものでございます。

本審査会では、40歳以上の介護保険被保険者の方が介護サービスを利用するために、本人の能力、介護の方法、障がいの現象の有無といった3つの評価軸をもとに、介護の度合いを示すため、介護保険法に基づきまして、要介護状態区分を決定しております。

それでは、予算書の379ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は、1億1,563万5,000円を計上しております。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

384ページをお願いいたします。

1 款分担金及び負担金の1億1,559万5,000円につきましては、ほとんどが4市1町からの負担金でございますが、平成27年度に各市町で見込まれます審査の対象件数をもとにした件数割と一律に負担する均等割を計上しております。

総審査件数につきましては、本市が2,953件、筑紫野市3,495件、春日市3,664件、大野城市3,396件、那珂川町1,619件の1万5,127件を見込んでおります。

次に、386ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

1 款 1 項総務管理費は、事務局の業務を行う嘱託職員の賃金、審査会システム費用など、6,367万円を計上しております。

次に、1 款 2 項認定審査会費につきましては、認定審査会委員の報酬及び費用弁償としまして5,096万5,000円を計上しております。

よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第 8 議案第 35 号 平成 27 年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第 8、議案第 35 号「平成 27 年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） 水道事業会計の予算書は水色の表紙になりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、平成 27 年度において予定しております予算の概要について説明をさせていただきます。

4 ページをお願いいたします。

まず、1 款 1 項 1 目の給水収益につきましては、有収水量の伸びなどで、前年度に比べ 2.2%増の11億8,745万4,000円を予定しております。

次に、2 項 2 目の加入負担金につきましては、前年度に比べてマイナス 10%、約 700 万円の減となる見込みでございます。

前年度の平成 26 年度におきましては、榎寺、五条台といった比較的大型の一斉加入がありましたけれども、本年度は通常の見込み件数をベースとして計上しております。

次に、3 目の長期前受金戻入でございますけれども、これは会計制度の見直しにより新設さ

れました科目になりますけれども、今までの建設財源となった国庫補助金等の減価償却費に相当する額を計上するものでございます。

次に、5ページをお願いいたします。

1款1項1目の原水及び浄水費につきましては、隔年で行っております業務委託費の計上、及びうるう年の影響で1日分の受水費が増加するなど、前年度に比べて約900万円の増となっております。

次に、2目の配水及び給水費が約340万円の減となっております。これは、次のページの修繕費でございますけれども、係る費用の一部を流動負債の引当金で対応することとし、費用の抑制を図ったことが主な要因でございます。

次に、3目の業務費につきましてはコンビニ収納が増加している関係で若干の増、4目の総係費は人件費の関係で約190万円の減となっております。

7ページの5目減価償却費は1,000万円ほどの増となっております。これは前年度取得資産分が追加となったことなどによるものでございます。

次に、8ページをお願いいたします。

2項3目の消費税でございますが、今年度は前年度に比べて工事費等の支出額が減少しております関係で約1,800万円の増となっております。

次に、3項の特別損失が1,580万円ほど減少しております。これはその他特別損失になりますけれども、会計制度の見直しにより、新会計制度への移行処理として平成26年度のみ計上する引当金繰入額が不要となったことによるものでございます。

次に、9ページの資本的収入でございますけれども、消火栓の新設及び五条雨水幹線築造工事に伴います水道管の布設がえ工事負担金になりますけれども、合計の1,317万4,000円を計上しております。

次に、10ページをお願いいたします。

資本的支出の2目配水施設費でございますけれども、今年度は松川、国分、水城地区の新設工事、及び都府楼、梅香苑地区の布設がえ工事などを予定しております。

また、今後、効率的な運転管理の推進でありますとか、老朽化対策など重要な課題の取り組みとしまして、水道配水施設等基本計画を策定してまいります。

次に、11ページをお願いいたします。

予定キャッシュフロー計算書でございます。

本年度は、1の業務活動ではプラス4億2,435万4,000円、2の投資活動及び3の財務活動ではそれぞれマイナスの2億9,872万2,000円及び1億1,512万9,000円となる見込みですので、合計は下から3行目になりますけれども、この1年間で現金は1,048万3,000円増加する予定でございます。

その下の2行の数値は、各年度末の現金預金残高をあらわしております。

概要の説明は以上でございますけれども、12ページ以降に給与費明細書、債務負担行為に関

する調書、平成26年度及び平成27年度の予定損益計算書、並びに予定貸借対照表、会計方針等に関する注記を添付いたしております。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第9 議案第36号 平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第9、議案第36号「平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） 下水道事業会計は黄色の表紙になります。

よろしく願いいたします。

それでは、平成27年度において予定しております予算の概要について説明をさせていただきます。

4ページをお願いいたします。

まず、1款1項1目の下水道使用料でございます。前年度に平均7%の引き下げを行ったところでございますけれども、経過措置により2カ月分は引き下げ前の料金となりました関係で、対前年比では約1,000万円減の11億6,518万8,000円となる見込みでございます。

次に、2目の他会計負担金及び2項2目の他会計補助金につきましては、国の繰り出し基準に基づく一般会計からの繰入金でございます。

次に、3目の長期前受金戻入につきましては、水道事業と同様に、今までの建設財源となっております国庫補助金等の減価償却費に相当する額を計上するものでございます。

5ページをお願いいたします。

収益的支出でございますが、下水道事業費用は前年度に比べて約7,000万円の減となっております。

まず、2目の流域下水道維持管理費でございますけれども、御笠川那珂川分の維持管理負担金単価が平成27年度から3円の引き上げとなりました関係で約1,800万円の増となっております。

3目業務費は、徴収事務委託料などで約1,560万円の減、4目の総係費では人件費関係で約1,300万円の減となる予定でございます。

次に、6ページの5目減価償却費につきましては、前年度取得資産分の追加などで約580万円の増となっております。

6目の資産減耗費につきましては、除却資産の減少により約1,460万円の減となっております。

7ページをお願いいたします。

2 項 1 目の支払い利息は年々減少し、今年度はさらに約2,280万円の減となっております。

3 目の消費税でございますけれども、今年度は仮払消費税の減少が大きく、約970万円の増となる見込みでございます。

次に、3 項の特別損失につきましては、これも水道事業と同様に新会計制度の移行処理分がなくなります関係で、約3,750万円の減となる見込みでございます。

次に、8 ページの資本的収入でございますけれども、総額は8億5,123万1,000円となり、前年度に比べて1億7,464万4,000円の増となっております。これは建設改良費に伴います企業債や国庫補助金の増加が主な要因となっておりますけれども、4 項の負担金では一括納付の増加により約480万円の減少、5 項の他会計補助金につきましては資本費平準化債が完済となってきたことなどで1,000万円弱の減少となっております。

9 ページをお願いいたします。

1 目の公共下水道整備費でございますけれども、本年度は五条及び芝原雨水の工事、実施設計など、比較的大きな事業を予定しておりますので、前年度に比べ約1億4,650万円の増となっております。

2 目の流域下水道整備費につきましては、福岡県への負担金になりますけれども、今年度は約430万円の増となっております。

次に、10ページの3 目固定資産購入費につきましては、五条雨水等に伴います管渠埋設用地の取得費及び軽自動車1 台分の購入費でございます。

2 款の企業債償還金につきましては、平成25年度に元金償還のピークを迎えておりますので、約2,090万円減の9億9,718万円となり、10億円の大台を下回ってきております。ちなみに、企業債残高のピークは平成12年度末で、実に177億円を超えておりましたけれども、これが平成26年度末に100億円を切り、平成27年度末には85億円を下回るようになっております。

企業債は、元利ともに今後も減少していく見通しであり、建設工事も終えんに近づいてきておりますので、下水道事業は安定期に入ったと見ていいと考えておりますけれども、今後とも継続して健全経営に努めていくこととしております。

説明は以上でございます。

11ページ以降に財務諸表等を添付いたしておりますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

以上をもちまして各会計の概要説明は終わりました。

今回は、3月13日金曜日午後2時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして本日の予算特別委員会を散会します。

散会 午後0時01分

~~~~~ ○ ~~~~~

1 議 事 日 程

[平成27年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成27年3月13日

午後 2 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第28号 平成27年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第29号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第30号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第31号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第5 議案第32号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第6 議案第33号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について
日程第7 議案第34号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について
日程第8 議案第35号 平成27年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第9 議案第36号 平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（17名）

| | | | |
|-----|------------|------|------------|
| 委員長 | 門 田 直 樹 議員 | 副委員長 | 原 田 久美子 議員 |
| 委員 | 陶 山 良 尚 議員 | 委員 | 神 武 綾 議員 |
| 〃 | 上 疆 議員 | 〃 | 芦 刈 茂 議員 |
| 〃 | 小 畠 真由美 議員 | 〃 | 長谷川 公 成 議員 |
| 〃 | 藤 井 雅 之 議員 | 〃 | 後 藤 邦 晴 議員 |
| 〃 | 不 老 光 幸 議員 | 〃 | 渡 邊 美 穂 議員 |
| 〃 | 小 柳 道 枝 議員 | 〃 | 佐 伯 修 議員 |
| 〃 | 村 山 弘 行 議員 | 〃 | 福 廣 和 美 議員 |
| 〃 | 橋 本 健 議員 | | |

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（36名）

| | | | |
|--------|---------|----------|---------|
| 市長 | 井 上 保 廣 | 副市長 | 平 島 鉄 信 |
| 総務部長 | 濱 本 泰 裕 | 地域健康部長 | 古 川 芳 文 |
| 市民福祉部長 | 中 島 俊 二 | 建設経済部長 | 辻 友 治 |
| 上下水道部長 | 松 本 芳 生 | 教育部長 | 堀 田 徹 |
| 会計管理者 | 今 泉 憲 治 | 総務課長 | 友 田 浩 |
| 経営企画課長 | 山 浦 剛 志 | 公共施設整備課長 | 原 口 信 行 |
| 文書情報課長 | 百 田 繁 俊 | 管財課長 | 久保山 元 信 |
| 防災安全課長 | 宮 原 広富美 | 地域づくり課長 | 藤 田 彰 |

| | | | |
|------------------------------|---------|----------|---------|
| 人権政策課長兼
人権センター所長 | 諫 山 博 美 | 元気づくり課長 | 井 浦 真須己 |
| 文化学習課長併
中央公民館長併
市民図書館長 | 木 村 幸代志 | スポーツ課長 | 大 塚 源之進 |
| 生活環境課長 | 田 中 縁 | 市民課長 | 田 村 幸 光 |
| 税 務 課 長 | 吉 開 恭 一 | 納 税 課 長 | 伊 藤 剛 |
| 福 祉 課 長 | 阿 部 宏 亮 | 保育児童課長 | 中 島 康 秀 |
| 介護保険課長 | 平 田 良 富 | 国保年金課長 | 永 田 幸 |
| 都市計画課長 | 今 村 巧 児 | 建 設 課 長 | 眞 子 浩 幸 |
| 観光経済課長 | 大 田 清 蔵 | 社会教育課長 | 井 上 均 |
| 学校教育課長 | 森 木 清 二 | 文化財課長 | 菊 武 良 一 |
| 会 計 課 長 | 緒 方 扶 美 | 監査委員事務局長 | 渡 辺 美知子 |

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（5名）

| | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 議会事務局長 | 篠 原 司 | 議 事 課 長 | 櫻 井 三 郎 |
| 書 記 | 松 尾 克 己 | 書 記 | 力 丸 克 弥 |
| 書 記 | 山 浦 百合子 | | |

再開 午後2時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 皆さん、こんにちは。

ただいまから休会中の予算特別委員会を再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第28号 平成27年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第1、議案第28号「平成27年度太宰府市一般会計予算について」

を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

事項別明細書56ページの歳出、1款議会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

58ページ、2款総務費、1項1目一般管理費について質疑はありませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 59ページの一番下から2番目の工事請負費、防犯カメラの設置の関係でありますけれども、これ一般質問でも言いましたけれども、市長のほうからも計画的に防犯カメラを設置するということでしたが、100万円で一カ所しかつからないということですので計画的にするならばやはり最低でも5カ所ぐらい、できたら10カ所とまでも一般質問で言いましたけれども、そういったことを含めて今後これが上がっておりますけれども、ぜひ補正を組んでいただいてやっていただければと思っておりますので、よろしくお願ひします。それだけです。

○委員長（門田直樹委員） 回答は。

上委員。

○委員（上 疆委員） 意見。要りません。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今の工事請負費の上の13節委託料で、防犯カメラの保守点検委託料ですか、これは専門家に委託しているんでしょうけれども、例えば月とか半年とかに1回とかその期間というんですか、その防犯カメラのビデオですか、それは何か月ごとになさっているのか、委託会社というのはどういうところがなさるのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（宮原広富美） まず、期間につきましては年に1回ということで考えております。点検につきましては、設置しました業者、まだこの業者は決めておりませんが、今後決めますけれども、そういうことでハード、それとSDカードがございますのでそのチェックも含めまして年に1回行うようにしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） もし何か事故とか何かがあった場合は、即時それは開示するんですか。見ることができるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（宮原広富美） 警察からの要望でデータが欲しいとかという要望がございまして、その都度データの取り込みをしておりますけれども、その中でも機械のほうにふぐあいがあればその都度当然対応していくということになります。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今防犯、いろいろなテレビでも放映されていますが、防犯カメラの活用というのがすごく大事になっているようですので、そういうところも含めたところで安全に努めてもらいたいと思います。

答弁は要りません。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 同じく防犯カメラの点検委託料なんですけれども、審査資料の1ページにも防犯カメラの設置箇所が載っておりますが、私が審査資料を要求したものではありませんので要求された委員の方に申しわけないですが、活用させていただいて質問いたしますけれども、当然また新規のところでは1台の設置予算が上がっている関係からいけば、この防犯カメラの保守点検の委託料等も今後防犯カメラが増えていくことによって一定の増額といたしますか、今審査しているのは平成27年度ですが、平成28年度、平成29年度といけば金額は大きいものではないですけれども微増というような状況が続けていくのかなというような想像をしますけれども、そういったところへの見通しといたしますか、現状はどういうふうな担当課として考えておられるのか、お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（宮原広富美） 基本的にはこの保守点検は2年あるいは3年に一度程度の保守点検をするように考えております。ですから、台数が増えればその金額も当然上がってこようかと思っております。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） それと、あわせて防犯カメラに関しての維持費といたしますか、例えば市

役所の庁舎だったら自動販売機の電気代は設置の業者さんが払うような別にメーターがついて
いますけれども、そういった部分の防犯カメラの維持費の部分に入るのかわかりませんが、
も、そういった予算がこの予算書の中にはどういう形で計上されているのかまでご答弁くださ
い。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（宮原広富美） 維持費につきましては、11節需用費の光熱水費、その中に電気
代、電気料が入っております。それと、あとは消耗品費がSDカード、これも壊れますのでそ
の部分が入っておるというところでございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

続きまして、60ページ、61ページ、1目まで質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 61ページ、一番最後のところの普通自動車624万5,000円ですが、これは
あの債務負担行為で上がった市長用の車640万円がこういうことになっているという理解
でよろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） そのとおりでございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） この中にはいわゆる税金というかそういう重量税なりというのは入って
いるのか入っていないのか、その次のページに自動車重量税というのが2万5,000円あるわけ
ですが、そのあたりの関連をお聞きします。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 取得に伴います税金につきましては、63ページに記載しております公課
費、こちらのほうになります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 六百何十万円の車の公課費が2万5,000円ぐらいで済むんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 最初の取得分につきましてはこちらの備品購入費の中に入っております
が、それ以外の税金という部分がこちらに抜き出た形になっております。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 前も聞いたと思うんですが、車は何を買われるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） クラウンマジスタと考えております。今の現在の車種ですね、そちらと同じです。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 61ページの一番上ですが、秘書事務費の旅費の関係ですが特別旅費170万円、中身をお知らせください。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 県市長会春秋の出張分と九州市長会春秋の出張分、それと全国市長会の理事市に平成27年度になりますので、それに関連する出張の旅費になります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） 今まではこの特別旅費で払ってなかったような気がするんですが、新たな分は別として県とかそういう市長会は別途あったんじゃないんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 予算編成の関係で一部組み替えをしておりますので、その分でこちらに入っている形になっております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

それでは、62ページ2目から、続きまして65ページの3目まで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、64ページの4目、5目、6目、67ページの6目まで質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 65ページ、広聴広報費のところでお尋ねしますが、ホームページの関係がここに上がっていると思うんですが、私何回も一般質問等で、大野城が一番上に市民の皆様のご意見、ご提案、筑紫野市は市長の部屋の下に同じようにご意見、ご提案という項目があるということだけれども、太宰府市の場合は2ページ目の住所が書いてある電話番号あたりが書いてある一番最後にご意見、ご提案はというふうになっているわけで、何とかこれはもうちょっと目につきやすいところにする必要があるんじゃないかというふうに申し上げておりましたが、それは改善されるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） ホームページのレイアウトの関係でございますけれども、これ一般質問の中でもお答えしたんじゃないかと思っておりますけれども、今のホームページの賃借料といいますか、そちらのほうが平成28年8月までとなっております。新たなものに更新する際にそういったところも検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そのぐらいのことはすぐできることではないかと、平成28年8月ということは、今から1年半あるわけですね。そのぐらいのことはすぐできるんじゃないかと思えますし、やっていただきたいと思えます。

○委員長（門田直樹委員） 回答は。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そら、してくれればいけれども、ないでしょう。

○委員長（門田直樹委員） どうします。

経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） 今おっしゃったご意見も参考にさせていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 済みません、私から。

芦刈委員と少し違う考えですけれども、じっくり時間かけて。今のサイトのリンクをたどっていてもなかなか行き着かんとですよ。でも、検索すると一部ひっかかったりするから、それはやっぱりサイト構成がやや問題があるし、サイトマップなんかもなかなか実情を反映していないような気がします。だけん、1年かけてもいいですからじっくりね、ほかを研究して、いい、使いやすいものにしていただきたいと思えます。要望です。

ほかにございせんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） もう一つ、フェイスブックが去年かそこらにはあったと思うんですが、そのフェイスブックはないんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） SNS関係につきましては、現在ツイッターのほうだけは今のところ起動させております。フェイスブックについては、今のところはまだ導入の予定はございません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほか、よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 6目まで行きましたので、66ページ、7目、69ページまでですね。7

目に関して質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 67ページの公共施設整備関係費のところですけども、ここに係ってくるかなという形でお伺いしますが、積立金で公共施設整備基金が積み立てもされていますけれども、以前から議会の答弁等でも出てきております公共施設の白書はどういうふうになっているのかお示しを、ご答弁をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 公共施設整備課長。

○公共施設整備課長（原口信行） 白書の関係でございますけれども、これは平成26年9月19日の議会の決算特別委員会のごときにご報告させていただきましたけれども、基本的に公共施設等総合管理計画の中で包含していくというような形で回答させていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 済みません、その回答のときにいつごろまでって期限というか、いつごろというような目途があったかなかったか、私の記憶がちょっと今ないもんですから、その辺をあわせてご答弁いただきたいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 公共施設整備課長。

○公共施設整備課長（原口信行） 平成28年度を目途に計画を策定するというふうにしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） ということは、平成27年度のこの予算に関しては、そういった整備に向けての予算措置というのはこの公共施設の関連の部分ではとられてないというふうに理解してよろしいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 公共施設整備課長。

○公共施設整備課長（原口信行） 歳入のほうに債務負担行為で計上しております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにありますか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 69ページいいんですか。

○委員長（門田直樹委員） 一応7目までですが、よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 69ページ、上から何行目かの公有財産購入費、複合施設用地購入費、7,500万円というのは何なのか。

（「国土館」と呼ぶ者あり）

○委員（芦刈 茂委員） 国土館。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（久保山元信） 旧国士館跡地ですね。あの分の用地費でございます、2回目部分になります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） ほかによろしいでしょうか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） もう一つ。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 最後のほうの工事請負費の臨時工事950万円というのは、これは何でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（久保山元信） 臨時工事費、15節ですね。950万円の部分でございますが、この分については庁舎関連の工事関係のほうを予算化させていただいています。具体的には、平成27年度は総合窓口が設置されていることで、この分の工事費と1階南側のLED照明関係、それから2階3階のタイルとかカーペット等張りかえ等、それと1階2階のトイレの自動洗浄、それから外壁とか屋上の防水関係の工事費を合わせた額ですね、950万円臨時工事費として計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかによろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、68ページの8目契約管理費、次の71ページまでですね、8目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9目、10目、73ページまでですね、1項の最後まで質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 73ページですけれども、一番上の職員採用試験の関係でもないんですが、今回平成26年度で退職者数が何名なのか、その中で部長、課長がわかればそこまで、その他はいいんですが、その数何名ですかというのを聞きたいのと、あわせて新規採用職員は平成27年度は何名採る予定なのかお知らせください。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 平成26年度退職者につきましては、全体で28名でございます。部長が3名、課長が8名になっております。新規採用職員につきましては、19名採用をいたします。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかよろしいでしょうか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 一般質問の中で市役所の中で英語、中国語、韓国語ができる人は何人いるかということを知っていて、そういう統計はありませんということにちょっとびっくりしたわけですが……。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員、どこに対応した質問ですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 職員採用試験負担金のところですか。

○委員長（門田直樹委員） 続けてください。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 職員負担のところですが、新規19人採用する中でそのあたりの数字は具体的にどのくらいあるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 資格の中にそういう語学の部分については問うておりませんので、具体的に何名という把握はしていません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） これは要望ですけれども、国際観光都市太宰府ですから、やっぱり外国語ができる職員というのは積極的に採用するという大きな柱を立てていいんじゃないかと思いますが、要望いたします。

○委員長（門田直樹委員） 要望ですね。

ほか、よろしいでしょうか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません、今の上委員の関連ですけれども、平成26年度に28人退職されて新規で19人採用ということですが、純粋に正職の方が9人減るといような形になると思うんですが、ここの補充の方法はどのように考えられているのか、お願いします。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 退職されます職員のうち再任用ということで再度市役所に勤務される方もおられますので、その人数がフルタイムが14人でございますので、数字的にはそのマイナス分を補充した形になっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかがございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、72ページの2款総務費、2項企画費、1目企画総務費、ページがずっと行きまして77ページ、1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2目公文書館費、3目交流費まで、79ページの3目までに
ついて質疑はありませんか。

よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 国際交流関係ですが、79ページ国際交流、真ん中19、負担金補助及び交付金、国際交流協会補助金というのがあるんですが、国際交流協会の今の職員の中で先ほども聞きましたが英語、中国語、韓国語ができる人は何人いますか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 現在事務職員で韓国語が堪能な職員が1名おります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今ご答弁で1名というお話なんですが、ここに交流員の賃金が出ている
んですよ。それと、住宅が出ているんですけれども、これ韓国の扶餘郡のほうからお見えに
なっている交流員のことなんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 現在3月10日から勤務をされております、新しい国際交流員の関連予算
でございます。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） そうなりますと今、国際交流の補助金の中に含まれている国際交流協会
の事務嘱託さんがいらっしゃると思うんですが、これはどこから捻出されているんですか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 国際交流協会事務局の職員分につきましては、国際交流協会の予算のほ
うから支出をしております。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今のご答弁でその外国語ができるの方1名っておっしゃるけれども、そ
の国際交流協会採用された方もたしか外国語にはたけてらっしゃるって聞いているんですけ

れども。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 先ほどの芦刈委員の質問については職員ということでしたのでそれで答えておりますが、国際交流協会事務局ということになりますと現在雇っている嘱託職員につきましても英語が堪能でございますので1名プラス、それに国際交流員は嘱託職員ですので、それを足しますと合計で3名という形になります。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） ありがとうございます。

できるだけ芦刈委員さんがおっしゃっているように、国際都市になりつつありますのでお力を入れてもらえればなおいと思います。

よろしくをお願いします。

それともう一点、お願いします。

友好都市関係費の旅費なんですけど、144万5,000円あるんですけども、今年のはたしか多賀城市とか友好都市関係が周年を迎える年じゃないんでしょうか。その辺を含んだところでこの金額が出ているんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） その10周年分につきましても、一部骨格でということと計上させていただいておりますが、その分も含んだところプラス中津市との新たな交流の分も含めたところの予算計上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 国際交流員ですが、過去2回というか2人ぐらい何か任期途中でやめられたり何かうまくいってなかったなというように思っているわけですが、今回私も初めて聞いたんですが扶餘から来られたということで今までの反省と新しく変えたということと、その方は何年なんですか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 前の国際交流員の方につきましては体調不良ということで帰国をされております。今回来られた方につきましても扶餘郡の推薦ということでございますが、出身はテグでございます。任期的には3年ということで話をさせていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 今回これと関連してですが、行く行くはやっぱり太宰府からも扶餘郡に対して1名ぐらい相互交換みたいな形で行って、やっぱり例えば行った文化財課の人が扶餘郡にいるけれども全体的な韓国の考古学の人たちといろいろ交流を図るなり、そういうネットワ

ークをしてお互いの双方向の国際交流を扶餘郡と図るべきじゃないかと思うし、今後の新しい育てていく人材を1年なり2年なりお互い友好関係の中で提携して、こっちから向こうに行く、向こうからもこちらに来る、そしてお互いに交流して今後に生かして、韓国の考古学も非常に進んでいると思いますし、そのあたりの勉強をしてネットワークをつくっていくというふうなことを私は考えていいんじゃないかなと思うし、太宰府の文化財課にそういう国際的な視野を持った人が育ってほしいなというふうに思うんですが、これは希望になるでしょうか。もしくはどっかに返事してもらえればいいですけども。

○委員長（門田直樹委員） 見解を求めんでよろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そら、どなたかからご意見いただければいいですが、回答を。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 今芦刈委員が言われた分につきましては、新しい国際交流員も着任されておりますので、語学研修から職員のレベルアップを図っていこうということを平成27年度から計画をするようにはしております。来年が多賀城市10周年ということでございますので、復興からも5年ということになります。多賀城市の派遣のほうをまた充実させていくのをまずはこのところで今計画はしておりますが、委員さんが言われた分につきましては今後検討させていただきたいと思っております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

一言でいうたら相互交流は考えているかでいいんでしょう。

総務課長。

○総務課長（友田 浩） そうですね。

○委員長（門田直樹委員） そう言っていただけるとスムーズになります。

よろしいですか、ほか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、78ページ、4目女性政策費、81ページまでですが、4目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

それでは、5目地域づくり推進費、ページが83ページまでですが、5目について質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 確認ですけれども、コミュニティバスの運営費に関して、今回は予算を見ると車両の新しい買い上げとありますか、買いかえというようなそういうような予算が見当たらないと思うんですけども、この平成27年度についてはそういう予定はないというふうに理解してよろしいですか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 平成27年度10月に車両1台購入するようにしております。予算につきましては、運行補助金の中に西鉄に対しての支払いということでこちらのほうに入っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 済みません、地域線のほうなんですけれども、現在値段が少しずつ上がっているという話を聞いているんですが、今の値段が幾らなのかということと、それから今年とか近い将来また値上げをするような予定があるのかお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 地域線でございますが、湯の谷につきましては150円頂戴をいたしております。連歌屋につきましては200円を頂戴しております。これは、利用者がほぼ地域の方々によるものであるということと、運行費から算出しまして計算をして、もちろん地域の中で検討委員会を開催しまして料金をその中で決定して了解をいただいて決定したものでございます。

今後について値上げする予定につきましては、現在まだ検討には入っておりませんが、消費税等のアップに伴いまして何らかの方向性というのは今後必要になってくるだろうというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今のボランティア関係費と地域コミュニティ推進費の中の委託料が13節で2つ上がっているんですが、この415万円、それと311の13の施設管理委託料、これどっかの団体だと思うんですが教えていただけたら助かります。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） ボランティア関係費の委託料でございますが、これはNPOボランティア支援センターをNPOボランティアネットワークのほうに委託をいたしております。その費用でございます。

次に、地域コミュニティ推進費の中の委託料でございます。施設管理委託料につきましては、南コミュニティセンター、南小学校にある施設でございますが、その管理について私どものほうで契約をいたしておりますので、今回計上をさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかよろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 関連資料でコミュニティバスに戻りますが、運行補助金が1億4,800万円、年間乗車人数が47万8,000人ということで、これ割りますと補助金と人数で割ると308円か309円になるかと思うんです。

○委員長（門田直樹委員） 追加資料のことですね。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい、追加資料です。追加資料1ページです。1億4,800万円を47万人で割ると309円ぐらいになると思うんですが、収入が100円あるいは100円ちょっとあるわけでしょうから、結局1人当たり400円ぐらいの計算になっていると。

そのあたりのところ、300円近くのお金がかかっているだろうと思うんですが、割って計算して100円乗せると400円近くの計算になるんですがという理解でいいんでしょうか。

まほろば号、1ページですね。

○委員長（門田直樹委員） はい。

○委員（芦刈 茂委員） まほろば号の1億4,100万円何ぼで、乗っている人数が46万人というのを割ったら幾らになるんですかね。ちょっと計算機持っている。

○委員長（門田直樹委員） 電卓で計算すればわかるんじゃない。

○委員（芦刈 茂委員） 300円前後でしょう。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 単価としましては307円でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 307円ですよ。そしたら、その補助金を出してなおかつ100円の収入が西鉄にはあるわけでしょう。だから、300円何ぼと100円の収入、つまり400円の収入が西鉄にはあるというふうな理解でいいんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 平成25年度で申し上げますと、運行経費が1億8,733万3,840円、うち運賃収入が4,577万2,877円、差し引き太宰府市が補助額、今こちらに載せております金額1億4,156万円でございます。ですから、計算上今言われた金額になろうかと思えます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） ちょっとそれがどうなのかと、いろいろ考えなきゃいけないんじゃないかと思えますということです。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 地域コミュニティ推進費の委託料ですね、自治基本条例制定に係る業務委託料、これ自治基本条例、大体いつ制定されるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 昨年この時期に平成26年9月までには目途をつけたいということでお話をさせていただいておりましたが、現状を申し上げますと現在まだあと少し残しております。大きく言わせていただければ平成27年度の早い時期、今回の審議委員さんの任期が10月31日でございますが、これまでには目途がつくということで今進めておるところでございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員、よろしいですか。
地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 済みません、追加します。審議委員さんからの答申をいただくのが今年10月31日までにはいただきたいということで進めております。

（「発言してください」「10月31日……」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 福廣委員。何か発言あるんですか。

○委員（福廣和美委員） ありません。

○委員長（門田直樹委員） じゃあ、不規則発言はやめてください。
陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） この自治基本条例制定に係る業務委託料ですけれども、今までですね、どのぐらいかかったか教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 策定業務委託につきましては、3年間で695万円でございます。幹事会の支援業務委託が234万3,600円でございます。これに審議会等の運営支援補助業務が311万1,180円、審議会報酬、費用弁償がそれに加わってまいります。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。
陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） そしたらトータル1,000万円を超えるということでもいいんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） トータルで費用弁償まで含めまして1,421万2,080円でございます。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） それまでかかって、この自治基本条例を制定する意味があるのかなと思うんですけれども。今審議会のほうで審議されておりますけれども、私は必要ないのかなと、それだけお金かけて何かメリットがあるのかなと思いますけれども、その辺。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 自治基本条例と申しますのは、市民と行政と議会とこの新しいル

ールを決めて、今から直面するであろう行政の問題点等について一緒になってやっていきましょうというところに主眼を置いたものでございます。金額は確かにかさんでおりますけれども、これも市民会議が22回、十分に審議を重ねて市民会議の中から意見をいただいております。幹事会につきましては48回開催をさせていただいております。審議会につきましても先月2月で一旦閉じましたけれども、22回の審議をいただいております。1条ごとに非常に多くの意見を出し合いながらこの条例を策定しております。準備をしております。その辺どうぞお含みおきいただきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 今審議会で審議されておりますのでこれ以上は申し上げません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いろいろお気持ちというかな、考えがあるのはよくわかりますけれども、一般質問でね、言うべきかなと思いますね。というのは、まだ継続的にずっとやってきて我々もその事業を認めて今までやってきたわけですね。お金が幾らになつたからもうやめろとかという話にはならんと思うし、いずれ答申があつてまた提案という形になると思うので、そのときに十分審議されたらと思いますけれどもね。

ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません、戻りますけれども、コミュニティバスのところで地域線のほうで、市民の皆さんが結構乗ってあつて満員になっているときがよくあるというようなお話も聞いていて、やっぱり同じ方がずっと乗ってあるみたいなんですよね。新しく乗ろうと思つたらなかなかいつも同じ方が乗っているんで乗りづらいとかというようなお話とかあつているんですけれども、そこら辺の人数が多くてもっと増便をとかというようなお話はあつていましてしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 湯の谷地域線でございますが、朝の便がどうしても乗りこぼしの可能性が多いと、また五条から戻ってくる便も時間によっては乗りこぼしができるということを受けておまして、その対応策といたしましては、湯の谷につきましては9人より多い場合はタクシーを運行させて追走させているということがあります。また、今回4月1日からでございますが、朝一番の便がどうしても9人以上乗るということを踏まえまして朝の9:00発の便を30分早めて8:30発、また一番お客様が少ない13時の便を9:10発の第2便として振り分けて今運行する準備を進めております。これも、湯の谷の地域の方々と話し合つて決めまして、回覧等自分たちでつくつて周知をしていくという作業もさせていただいているところでございます。一応、対応は考えてさせていただいております。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今おっしゃったタクシーの追走便というのは、これは予算としてはどこに振り分けられているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） これは運行費として計上を一緒に合算で上げさせていただいております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

よろしいでしょうか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 今その運行補助金に関連して、今やりとりの中で気になったんですけども、それは湯の谷線を運行している運行先ときちんと協議をした上で、そういうふうな形になっているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） これは運行当初から乗車定員漏れが起きるという想定のもとに取り決めを行っておりまして、1台当たり初乗り料金での運行と。運賃については、お客様からは通常どおり150円ということで契約をいたしております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） 進んでいいですか。

それでは、82ページの2款総務費、3項徴税费、1目税務総務費、2目賦課徴收費、85ページまでですね。3項について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。

86ページ、2款総務費、4項戸籍住民基本台帳費、1目、2目、89ページまでですね。4項について全体について質疑はございませんか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 87ページの990、住居表示の件なんですけど、これは大体順番でなさっていると思うんですが……。

○委員長（門田直樹委員） 991やろ。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 一番下。

そこは今の進捗状況を教えてもらえませんか。まだ掛けているところがあるようにありますので、全域をきれいに張りかえるというのはどれぐらいで終わるのでしょうか。永久に終わらないんでしょう。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） 住居表示の今後の計画ですが、住居表示は市街地が形成された地域を対象としていますので、現在のところも計画はございません。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 計画はないというけれども、住居表示を切りかえているところがありますよね。あの紫色だったりグリーンだったりありますよね。だから、ばらばらなところがあるように見受けるんですが、その住居表示って何か縦長であったり横長であったりあるんですが、そのことじゃないんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） 大変申しわけありません、勘違いいたしました。

住居表示板につきましては、平成26年度とか平成27年度、計画的にですね、平成26年度につきましては五条三丁目から六丁目、青山一丁目から四丁目、平成27年度につきましては梅香苑、梅ヶ丘、青山の一部で張りかえをいたしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） その990の次のページ、89ページの工事請負費ですね、町名街区案内板設置工事なんですけど、これは新規ですかそれとも立てかえですか教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） これは今市内100カ所ございまして、年間3カ所ずつ立てかえをしている部分でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにもございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 1目ですね、戸籍住民基本台帳費のところですけども、一番下の19節の負担金補助金の社会保障・税番号関連事務負担金というのは、金額は事務費の負担金の中では大きいなというふうに思うんですけども、これはどういった内容でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） これにつきましては、マイナンバー制度に基づきまして地方公共団体情報システム機構に払います通知カードの作成費並びに発送費ですね。あと個人番号カードの製造費とか受け付けに係ります人件費の予算でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 個人番号というのが出たのでここでお聞きする場所だろうと思うんですが、ほかの町や市ではコンビニで印鑑証明とか住民票がとれるというふうになっておるわけですが、太宰府市はそんなになっておりませんが、そういうものを何か進めるような予算というのは今回計上されているのでしょうか。あるいは、今後どんなふうにそのあたりのお考えをお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） 今年度には予算は計上されておりませんが、マイナンバー制度が確実に普及すれば将来に当たって、本人確認ができるようになりますので、コンビニ交付もできるようになる制度でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 87ページ、今の住民基本台帳のところの13委託料の住民実態調査について教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） 住民実態調査につきましては、納税課並びに国保年金課から、実際この方が本当に住んであるのかということシルバー人材センターのほうに委託して調査をしていただいているところでございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

88ページ、2款総務費、5項選挙費、1目、2目、3目、4目も、95ページの7目まで含めまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） いいですね。

それでは、94ページから2款総務費、6項統計調査費、1目、2目までですね、97ページまでに関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、96ページ、2款総務費、7項監査委員費、1目、99ページ

までですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3款民生費に入ります。1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、ずっと行きますと103ページまでですが、1目について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2目老人福祉費。

105ページまで2目についてよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3目障がい者対策費、107ページまでですね、3目について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4目障がい者自立支援費、ページは106ページから109ページまでですね。4目についてよろしいでしょうか。

上委員。

○委員(上 疆委員) 109ページの19節の負担金、補助金の中の2つにまたがっていますが、まず地域活動支援センター運営費補助金は前回新年度に載ったんですが、新しく一番下側に筑紫地区地域活動支援センター負担金、これについて金額が500万円ぐらい出ているんですが、このセンターの場所と関連内容をどう違うのかですね、前回の分とあと新規の分ですね。その辺を。

○委員長(門田直樹委員) 福祉課長。

○福祉課長(阿部宏亮) 今お尋ねの下のほうの筑紫地区地域活動支援センター負担金については、今回こちらのほうで計上いたしておりますが、これまでについては春日高校の前ところに筑紫自治振興組合というのがありまして、その中の筑紫地区地域活動支援センターつくしぴあとというところを4市1町で委託しておるところでございます。今回負担金の中で、障がいの部分だけをこちらのほうに分けて、522万9,000円を計上させていただいております。

それから、上の段のほうの地域活動支援センター運営費補助金、これは今体育複合施設が建っておりますけれども、そちらのほうの地域包括支援センターの横にございますNPO法人太宰府障害者団体協議会のほうがやっております、あす・ラック工房への補助金という形になります。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

ほかにご覧ですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5目からですね。5目援護関係費、111ページ、よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、6目、7目、8目、111ページまで、質疑はございませんか。

芦刈委員。

○委員(芦刈 茂委員) ひとり親家庭等医療対策費、いいんですよね。

○委員長(門田直樹委員) 7目ですね、はい。

芦刈委員。

○委員(芦刈 茂委員) ごめんなさい、何回も聞いとるかもしれませんが、ひとり親家庭というのは何件ですか。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(永田 幸) ひとり親家庭の平成27年2月末現在でございましてけれども、世帯数で申しますと合計で589世帯でございまして。

以上です。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、112ページ、3款民生費、1項社会福祉費、9目国民年金費について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、10目人権政策費、115ページまでですが、資料要求もありますが、10目について。

藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) 審査資料の2ページですね、運動団体の補助金の関係なんですけれども、これはこの任期中何度も資料も出していただいていたし、話もさせていただいていますが、一応任期中最後の予算委員会なのでお聞きしますけれども、これ縮小に向けて当然対応されているというのは理解していますけれども、どういう形で進められているのか詳しくお聞かせください。一つの団体に対してそういう協議を行っているのか、それとも団体ごとにきちんと窓口を持って対応されているのか、そういった方法のところをご答弁ください。

○委員長(門田直樹委員) 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長(諫山博美) この補助金につきましては、現在の補助金額が平成26年度、平成27年度、平成28年度の金額に協議のほうは進んでおります。平成29年度以降につきましては、4市1町で構成しております筑紫地区人権・同和行政推進協議会というところでまた協議になるかと思っております。協議の中身につきましては、それぞれの団体の中身につきまして協議を進めておるところでございまして。平成28年度までに平成29年度以降の補助金をどうするかについては、また4市1町の協議が行われる予定でございまして。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 当面その補助金は存続していくというふうに、今何か答弁で聞くととれるんですけども、そういうふうな認識でよろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（諫山博美） 平成28年度までは、この補助金額同額がまた平成28年度の予算に上がってこようかと思いますが、平成29年度以降につきましては、金額等につきましてはまだ協議が進んでおりませんので、平成28年度中に今後補助金をどういうふうにしていくのかという協議を4市1町の担当のほうでするようになろうかと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 戻ってきたらまたやります。

○委員長（門田直樹委員） はい。

それでは、11目人権センター費、117ページまでですが、11目について質疑はございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 11目人権センター費となつとるわけですが、その明細として南隣保館と南児童館と南体育館というふうになっているわけです。人権センター費ということであれば、人権センターというのがあって、そこにセンター長がいるのか、そのあたり、ちょっと済みませんが、4年たつとって自分でも恥ずかしいですが、改めてこんなことを聞くのも恥ずかしいですが、そのあたりの関連というのはどんなふうになっているんでしょう。これが当たり前と今まで思ってきたけれども、人権センターというのが太宰府市にあるのかどうか。

○委員長（門田直樹委員） 名前にそごがあると言いたいとですね。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そのあたりのお答えというかは、私が不勉強なのか、済みません。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（諫山博美） 人権センターにつきましては南隣保館、それから南児童館、南体育館を合わせまして総称という形で人権センターというような名称にしております。実際の建物は3つございます、それぞれ。先ほど言いましたように南隣保館という建物もありますし、南児童館もありますし、南体育館もあると、その3館を合わせて総称が人権センターという名称になっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） それは、市としての人権センターという意味となれば、人権センター長というのが市の職員として存在しているのかどうか。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（諫山博美） この人権センターのうちの南隣保館それから南児童館の管理運営につきましては、社会福祉法人みらいというところに委託をいたしております。このみらいという社会福祉法人は、隣保事業を県のほうから認可されている唯一の団体でございますので、こちらのほうに委託をお願いしております。それから、南体育館につきましては、これは入札を行いまして管理運営をお願いしていると、通常のコトにですね。そういう状況でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 南児童館についてなんですが、資料請求の中、2ページなんですけれども、月ごとの利用人数を出してあるんですが、私が請求したわけじゃないんですが、この人数が、例えば毎月30日とかというふうな形で割ると、平均的に子どもが6人とか7人というような利用になっているんですけれども、今やっぱり子どもたちが集う場所とか、遊ぶ場所がなかなか少ないというのは、お母さんたちの声でもありますので、一般質問でも取り上げてきましたけれども、この南児童館はできるだけたくさん子どもたちが集えるような企画をとかというようなこととお話ししましたけれども、何か今改善をされているのか、また来年度ですね、何か改善策とか新しい企画、楽しいものがあるのかということをお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 今書いている、人数は南児童館のほうで行っている学習に参加する児童数を書いております。日にちで書きますと大体平均で10名程度の参加がございます。特にこれにつきましては、多くの参加の方が、おられるほうが私どもも望んでいますので、ただ、その方策というのはまだ考えがなかなかついてないような状況でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） この南児童館には児童指導員ですかね、専門員の方がいらっしゃると思うんですけれども、やっぱりそういう方たちを活用して、何か子どもたちが集まってくるような企画をぜひ立てていただいて進めていただきたいなというふうに要望します。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、もう少し進みます。

116ページ、3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、119ページまでですが、2目も一緒にしましょう。児童措置費までですね。1目、2目に関して質疑はございませんか。
上委員。

○委員（上 疆委員） 119ページの1目の一番下ですけれども、19節の負担金、補助金及び交付金の子育て世帯臨時特例給付金ですが、これについては昨年と同じような形なんでしょうか。前は前年同様に消費税児童手当支給ということで受給者に渡って内容が1人1万円やったですかね、今回はどういうふうになっているんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 平成27年度につきましては児童1人当たり3,000円の給付となっております。平成26年度につきましては1万円で、臨時福祉給付金との併給調整を行いまして臨時福祉給付金の受給者には渡らないようになっておりましたが、今回は併給ができるというふうになっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにごございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 同じところで子育て世帯臨時特例給付金ということですが、非常にいつも思うんですが、これの財源は何なのかと思ってみたら前ページに戻って国庫支出金、一般財源というのが出てくるわけですが、金額からいけば国庫支出金のほうになるのかと思うんですが、この3,300万円の財源というのはどうなんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 全額国からの負担金となっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 2目についてはよろしいですか。1目、2目。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 1目の017の子ども・子育て支援事業計画なんですけれども、今事業計画が策定される方向になっていますけれども、この会議の委員さんは平成28年度までが任期になっていると思うんですが、平成27年度、平成28年度の活動の内容とかは決まっていますか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 平成27年度につきましては、案件が上がってきたときにご審議いただくというふうになっておりますので、具体的な活動内容については今のところ決まっております。

ません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

それでは、3時15分まで休憩します。

休憩 午後2時59分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後3時15分

○委員長（門田直樹委員） 再開いたします。

人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（諫山博美） 先ほど、芦刈委員さんのご質問の中で人権センターの所長は市の職員がついているのかというご質問に、私は実際の運営面について社会福祉法人のほうに委託しているというご回答をしておりましたけれども、ちょっと回答が不十分でしたので、人権センターの所長は人権政策課長が兼務をいたしておりまして、当然辞令もいただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） それでは、120ページの3目教育・保育施設費から123ページ4目学童保育所まで、質疑はございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 123ページの一番上のほうに施設解体工事ってあるんですけども、これは五条保育園のあれですかね。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 旧五条保育所の解体工事になります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 旧ですね、はい。旧五条保育所を解体した後、何かを建てるとか何か予定はあるんですか、建設予定とか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 解体した上で土地のほうは平成27年度中に売却する予定でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） わかりました。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 関連しますけれども、五条保育所、アスベスト等の使用はなかったんでしょうか。そういった部分を含めて解体工事をする上での安全対策とかも必要になってくるんじゃないかなと認識するんですけども。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 解体工事につきましては、工事設計監理等の委託をしております。設計監理を委託する上で、その辺も十分に慎重に対応した上で解体のほうを進めていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5目子ども医療対策費、122ページから125ページまでですが、5目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、6目家庭児童対策費、ページが127ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3款民生費、3項生活保護費、1目生活保護総務費、2目扶助費、129ページまでですが、質疑はございませんか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 資料要求させていただいているんですけども、資料要求した4ページなんですけど、平成24年度から平成25年度は若干生活保護の受給世帯が横ばいとは言いませんけれども、そんなに多くはなかったんですけど、平成25年度から平成26年度にかけてやはりかなり世帯数が増えてきたということが一つあります。

それともう一つは、特に60代とかが非常に増えてきているんですけども、年度によって増えたということと、60代が非常に増えているという理由、原因は所管としてはどのようにお考えでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（阿部宏亮） ただいまのご質問につきまして、その原因というのは、これまでいろいろと調査はしているんですけども、特には、貯金等でしのいでおられたのがその貯金等の減少とか喪失そういうものが多いということと、あとは世帯主の疾病関係、その辺が原因ではなからうかというふうに思っております。あとは全体的に、高齢化が進んでおりますので、世代がその分上に上がってきているということも一因ではないかというふうに分析しておりますのでございます。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） あと、40代も平成24年度から平成25年度はちょっと減っていたんですけども、平成25年度から平成26年度というのは10件以上増えているんですけども、こういった世代間においても何か増えた理由とかというのはやはりある程度調査とかはされるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（阿部宏亮） その辺については、調査といいますか調査のしようがないんですけども、分析でいきますと一応生活保護の開始件数の中で、約22%ほどが他市町からの転入という方がおられるんですよ。だから、その辺のところも関連があるのかなというふうには思っておりますけれども。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 22%の人が生活保護世帯の人が、ほかの他市で生活保護世帯だった人が太宰府に転入してこられたという意味ですか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（阿部宏亮） はい、そういう方もおられますし、刑務所等に入っておられて、出所されてこちらのほうに来られたとかという方とかも結構おられます。

（「いや、実際におるんですよ」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、128ページ、3款民生費、4項災害救助費、1目災害救助費、131ページまでですが、4項災害救助費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款衛生費に入ります。1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、ページが130ページから133ページまでですが、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2目保健予防費、132ページから135ページまでですが、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、134ページの3目母子保健費、137ページまでですが、3目について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 母子健康診査費、13の委託料の乳幼児健康診査委託料ってあるんですけども、これは病院に委託されていると思うんですけども、人数は何人という形で何か数字

が出ているのでしょうか。見込んであるのか、お願いします。

○委員長（門田直樹委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（井浦真須己） 10カ月健診の人数ですけれども、70人掛けることの12カ月です  
ので、840人を予算で見込んでおるところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） この乳幼児健診はもうずっとされていると思うんですけれども、その健  
診に来られるのに、交通手段がなくてなかなか出づらいつかというような声は届いていますで  
しょうか。

○委員長（門田直樹委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（井浦真須己） 実は昨年3月に横のアパートを解体していただいてという  
か、市のほうの管財課のほうで用地を取得して第2駐車場をつくっていただきました。それ  
で、今確かに年に何日かは非常に満車になったりして、県道まで少し連なったりするときにあ  
りますけれども、大分駐車場の渋滞状況は解消されてきているかと思えます。ですから、そう  
いう苦情といいますか、そういうことは少なくなってきたかと思えます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにもございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 済みません、1つ戻ってもいいですか。

○委員長（門田直樹委員） はい、どうぞ。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 131ページの健康づくり推進費で398万2,000円、新しい事業として元  
気づくりポイントの計上が上がっているようなんですけれども、これは非常に健康づくりに付  
加価値をつけていくということでいい事業だなというふうに思っていたんですが、このポ  
イントの上限であるとか使える範囲において介護保険料に支払えるとか、そういったことは何  
かありますか。済みません。

○委員長（門田直樹委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（井浦真須己） 今元気づくりポイントにつきましては、商工会の商品券にかえ  
るということで一応3,000円を上限にさせていただいております。3,000円で終わってしまうと  
いうこともありますので、それ以上頑張られてポイントを重ねられた方には5,000ポイントで  
何か景品なり励みになるような表彰をさせていただきたいなということで、今計画を各関係機  
関と調整しながら進んでいるところでございます。

ただ、今委員おっしゃっていただきました介護保険云々ということについては、まだそこま

で私どもの案の中では入っていないところがございます。今のところは地域健康部というところで、主に実施していきますけれども、市全体として取り組みが可能になりますならば、今後いろいろ可能性を考えてやっていきたいなというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。進んでいいですか。

それでは、4目老人保健費、137ページまでについて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

138ページ、5目環境衛生費、6目公害対策費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7目環境管理費、141ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款衛生費、2項清掃費、1目清掃総務費、140ページから143ページまでですが、1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、142ページ、2目塵芥処理費、145ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

そうしたら144ページし尿処理費、147ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款衛生費、3項上水道費、1目上水道事業費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5款労働費に入ります。1項労働諸費、1目労働諸費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

6款農林水産業費に入ります。1項農業費、1目農業委員会費について、ページは149ページまでですが、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2目農業総務費、3目農業振興費、4目都市近郊農業推進費、151ページまでの5目農地費までについて質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 149ページの3目の農業振興費、委託料の有害鳥獣駆除委託料のところになるかと思うんですけども、山手のほうに駐車場を持ってあって、イノシシの被害が駐車してある車に及ぶんじゃないかということで心配されている市民の方がいらっしゃるんですけども、そういう場合はこういう駆除の対策は受けられるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 観光経済課長。

○観光経済課長（大田清蔵） 今猟友会等とあと北谷、内山農事組合に委託をして箱わなによる捕獲駆除を進めております。これは、あくまでも農産物被害への対策ということで、ただ結果的に、やはり農地の横に宅地があったりしますから、そういうふうに出没しているところについては家の横とかにはちょっと置けませんけれども、効果はありませんけれども、山にちょっと入ったところとか、水城から北谷まで四王寺山周辺に満遍なくと、あと宝満の周辺、内山、北谷地区に箱わなを設置して、捕獲駆除を進めています。だから、イノシシの捕獲駆除をしてイノシシの頭数を減らすという取り組みは結果的にはありますけれども、個人の方の車にどうかということで、設置ということは捕獲はしておりません。あくまでも全体的に、農産物被害の取り組みということで、やっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、150ページ6款農林水産業費、2項林業費、1目林業振興費、152ページ、153ページの2目林業管理費、3目緑地推進費までについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、152ページ7款商工費、1項商工費、1目商工総務費、ページは155ページまでですが、2目の商工振興費、3目消費者行政費までについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、154ページの4目観光費、ページがずっと行きまして159ページまでですが、質疑はございませんか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） まず1点目が、157ページの細目の15工事請負費の500万円というのはこれは具体的にどこなのかということと、それからあとページは159ページになりますが、細目の19ホテル等設置奨励金、これはずっとやり続けてあると思うんですが、実際に今までルーティングランティア太宰府さん以外の効果はどういったものがあつたか、2点お願いします。

○委員長（門田直樹委員） 観光経済課長。

○観光経済課長（大田清蔵） 観光施設、これは観光サインの設置であります、今年度について

は、駅は都府楼前駅から四王寺山の周辺のほうに行くところに、観光サインの整備をしたんですけども、来年度については、市内の点在しているサインとかをまた整備していきたいということで考えております。だから、どの辺というのはないんですけども、順次、新しいものにならしていきたいと思っています。

それとあわせてホテル設置奨励補助金ですけども、これが平成25年度からルートイングランティア太宰府のほうに交付しておりまして、今年が平成27年度3カ年目です、3年間交付するので最終年度になります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 最終年度ということで、じゃあもうその次の年度はもうないというふう  
に捉えていいんですか。

○委員長（門田直樹委員） 観光経済課長。

○観光経済課長（大田清蔵） そういうことです。平成27年度で3カ年間ですから、平成25年度からしておりますから、そういうことで終わります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） ほかのホテルとかでやっぱりこういった奨励金があるんだったら太宰府  
に来たいなというようなそういう声は市のほうには上がってきているんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 観光経済課長。

○観光経済課長（大田清蔵） 今のところそのホテルを検討しているというのは私は聞いておりま  
せん。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 戻って155ページの観光宣伝費の、使用料及び賃借料というのがあつ  
て、その中に自動車借上料と衣装賃借料、これは何かのイベントに使うんですか。外で宣伝に  
行ったときにお使いになるのか、例えばこちらで何かイベントのときにお使いになって、どの  
ようなときに、賃借料というのは……。

○委員長（門田直樹委員） 観光経済課長。

○観光経済課長（大田清蔵） この借上料は今度また5月のどんたくにも昨年も参加しましたが、  
また平成27年度も予定しております。そのときの貸し切りバスの借上料であります。それとあ  
わせて衣装借上料は太宰府万葉会のほうにですね、出演したそのときに万葉衣装を、着てもら  
ってその借上料ということで計上しております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかによろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、158ページ、8款土木費に入ります。1項土木管理費、1目土木総務費、161ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、162ページ、8款土木費、2項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費、2目道路橋梁新設改良費、ページが165ページまでですが、1目、2目について質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 2目の240の15節工事請負費、道路改良工事ですが、1億3,100万円について、箇所数を教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（眞子浩幸） 8路線になっております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにごございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 2目の同じく補償、補填及び賠償金のところですがけれども、この建物移転補償が出ておりますけれどもこれの件数、お示してください。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（眞子浩幸） これは社会資本整備総合交付金で水城駅・口無線の分で、建物件数1件になっております。

○委員長（門田直樹委員） 藤井雅之委員。

○委員（藤井雅之委員） はい、わかりました、結構です。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「1件」「1件でこれ」「多分非課税でしょう、移転補償だから」「非課税じゃないにしても税率はかなり有利なはず……」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、164ページ、3目地域交通対策費……。

（「そなんあったかな大きいところが、あそこ」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） いいですか、何か答弁漏れとか何か、ない。

建設課長。

○建設課長（眞子浩幸） 水城駅・口無線の分で筑紫保育園の分になっております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 保育園。はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） 164ページの3目から167ページまでについて質疑はございませんか。  
いいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3項河川費、1目河川管理費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4項都市計画費、1目都市計画総務費、ページがずっと行  
きまして171ページまでですが、1目について質疑はありませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 169ページのところですね、木造戸建て住宅の167ページから169ページ  
にかけてですけれども、木造戸建て住宅の耐震改修補助金のこれは何件分を見込んで予算計上  
をされているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（今村巧児） 補助金につきましては10件分を計上いたしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） これは私はずい先進的ないい取り組みで、もっと推進していくべきだ  
など思うんですけれども、これはどういう形で今啓発といいますか考えておられるんでしょう  
か。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（今村巧児） この周知につきましては、広報を何度もまづお流ししております。  
また、本年ポスターを作成いたしまして全自治会に出向きまして、公民館等にもこの補助制度  
についての周知をいたしました。また、先般はケーブルステーションにも取材をいただきまし  
てそのような形でいろいろな形で広報をいたしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、170ページの2目公園事業費、下の3目下水道事業費、  
173ページまで4目の土地開発費まで質疑はございませんか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 173ページの地域狭隘道路の拡幅の15のセットバック工事というのは、

これはどこのセットバックになるんでしょう。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（眞子浩幸） 平成27年度にセットバックで寄附の出てきたところの分になりますので、予定としては件数で20件ほど考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、172ページ8款土木費、5項住宅費、1目住宅管理費、175ページまでですが、1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、174ページ、9款消防費に入ります。1項消防費、1目常備消防費、2目非常備消防費、177ページまでですが、1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、179ページまでについての3目、4目までについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、10款教育費に入ります。1項教育総務費、1目教育委員会費、178ページから181ページまでですが、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、180ページ2目事務局費、ページが185ページまでですね、2目について質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 当初予算説明資料の9ページに学校教育運営事業の中にタブレット端末の導入が太宰府東小学校にあるんですけれども、これが182ページの14、使用料、賃借料の中に入っているというふうに事前にお話を聞いたんですけれども、東小学校のほうでこのタブレット端末を導入するということは、これは東小学校のほうからやはりこちらのほうでやらせてほしいということが話があったのかということと、東小学校は以前に電磁波のことで保護者の方が敏感になってあることがあるので、このことがどうなのかなというふうに思っているんですけれども、そこら辺は何か見解はございますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） お答えいたします。

東小学校にタブレット端末を導入して活用するというふうな計画でございますけれども、市のほうとしまして特に学校のほうから要望があったわけではございません。市内の学校という

のいろいろな児童数たくさんございまして、教室的に余裕がある教室を使いましてタブレット端末あるいは電子黒板を使うとかというふうな授業ができる学校を選定いたしまして、学校のほうの意向を聞きまして選定をさせていただいたところでございます。

あと、電磁波の関係につきましては、特に学校側との特別の状況、会議等を開いたわけではございません。特に学校側から要望があっているわけでもございません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） この事業自体が平成27年度から平成29年度まで3カ年東小でされるというふうにお聞きしたんですけれども、この3年間東小で実施して、学力の効果などを見た上でその先ほかの6校なりに広げていくというような考え方でよろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 今委員さんがおっしゃいましたように平成27年度から3年間、平成29年度までタブレット端末とか電子黒板、デジタル教科書等の導入を行って東小学校で活用をしていただいて、全小学校に導入するかどうかというふうな判断をこの3年間でしていただくような予定でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 今のに関連してですが、これ全校生徒に配付するんですか。全校生徒、全クラスが電子黒板になるのか、それか例えばパソコンルームみたいなところをちょっと改造してそこに電子黒板を設置して、その中の授業でするのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 今考えておりますのは、今各学校のほうにパソコン教室がございましてけれども、このタブレット端末を導入して行う方法といたしますのは、それぞれの教室で行うような予定でございます。それで、タブレット端末の台数でございますけれども、1教室分児童数の40人を対象としまして40台とそれから先生用の1台、あと電子黒板につきましては今の計画では太宰府東小学校が3階建てになっておりますので、1階に1台ということで3台を導入して使うような予定でございます。それから、今のところ1学年から6学年までの全学年、同時にはタブレット端末は使えませんので、順次交代で使っていくような計画でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 最初、タブレット端末を使い出したのがたしか武雄市が最初だったと思うんですけれども、あそこの使い方はたしか反転授業というような名前だったと思うんですが、予習と復習を逆転させてやるような授業のやり方をするということでタブレットを用いたと思うんですが、ここも同じような考え方で進めるということですか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 佐賀県武雄市の活用の方法というのが、自宅と学校のほうで反転教育という方法をとっておりましたけれども、現在のところ太宰府市の方法といたしましては、そういった反転教育というところまでは今のところ考えておりません。あくまでも学校の教室で利用するという形を今のところ考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 181ページ、学校教育運営費、報酬、外国語指導助手の関係ですが、何人でどういう形でしてあるのかご説明ください。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 外国語指導助手、ALTは現在3名来ていただいております。アメリカからお二人、それからカナダからお一人を複数年の嘱託という形で雇用をしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 多分中学校でしようけれども、どのような内容でそういう授業を。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） ALT、外国語指導助手につきましては、学校の教室で授業をメインにやるという役割ではございませんで、英語の先生の助手をするという形で市内の中学校それから小学校のほうで活躍していただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） かなり易しい英会話はできるような規模までにするなんていう目標はないのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 委員会といたしましては、そういうふうになっていただくのが一番でございますけれども、やはり個人の差がございますので、英語に親しむと、会話になれるということをメインに指導していただいているというのが現状でございます。委員さんがおっしゃるように日常的に会話ができれば一番ではございますけれども、それに近づけばいいかなというふうに考えております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

済みません、私から一、二……。

タブレットの件ですけれども、これはスタンドアローン、要するに独立ですか、それともホストとローカルみたいに何らかの形でつながるとるわけですか。一気に先生が何か配信したり

とか、集計したりとか。ちょっと聞かせてください。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） それぞれ先生の端末と子どもたちの端末がつながって配信できればいいんですけども、当初はやはりそれぞれ単独で実施していくような予定でございます。

○委員長（門田直樹委員） 単独ね。じゃあ、ということは、有線、無線問わず、要するに何が心配かというたら無線のときは電磁波やから、要はそこなんです。無線LANじゃないということですね、そこだけ確認したいんですけども。

わからんならまた後からで……。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 済みません、確認をいたしまして後でご報告いたします。

○委員長（門田直樹委員） じゃあ、進んでよろしい……。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 私も武雄の小学校のタブレットの反転授業の実際の講義の場に見に行っただんですが、見ていますと、女の子はローマ字変換でばちばちばちと打っている。隣の男の子はあいうえおを押さえて打っているということで非常に個人的に差があるんですよね。これ取り組むならやっぱり先生が1人で教えるんじゃなくて、何人かでそれぞれはかなり指導を直接せんと難しいんじゃないかなと思うんですが、そのあたりの具体的な運営方法まで検討されてあるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 今の時点では、当初やはり先生も初めてこういうタブレット端末とかあるいは電子黒板、デジタル教科書等を使いますので、まず先生がなれていただく、それから子どもたちがなれていただくために、それに向けて基礎的な指導をしていただくような業者に入っていて使い方の基礎的なものから応用まで、考えて教えていただくというふうな形をとっていかうと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。

184ページ、3目人権教育費、187ページまでですが、3目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4目特別支援教育費、5目幼稚園費、189ページまでですが、質疑はございませんか。

不老委員。

○委員（不老光幸委員） 幼稚園費の中の幼稚園就園奨励費補助金ですけども、これは就園する児童に対して幾らって決まるとるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） それぞれの世帯の所得に応じて、支給される金額のほうは違ってまいります。最高額で年額30万8,000円が限度となっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 不老委員。

○委員（不老光幸委員） それから、下の段の私立幼稚園運営費補助金、これは何に使うとかいな。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 市内5園幼稚園がございますけれども、幼稚園の施設の整備であるとか備品の購入、そういったものに使っていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

不老委員。

○委員（不老光幸委員） これ5園で182万5,000円ぐらいでいいとかいな。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 今のところこの金額で運営をしておりますが、確かに幼稚園からは増額の要望があっているところでございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今のところなんですけど、やっぱり幼稚園、今はこども園ですかね、国が移行しているところなんですけれども、それで今同じ市内に住んでいて、保育園に入園している子どもさん、それから自宅にいる人、それから幼稚園といろいろパターンはあると思うんですが、この運営方法について保育園については市営、本市が子育て支援を重点的に置いとります。それで、幼稚園のほうに、今も不老委員からもありましたけれども、5つの園で180万円というのは、そこの一つの園にですね、運営状況もあると思いますが、将来的にですよ、こども園のほうに移行していく方向性にあるんですけれども、この私立幼稚園に対しての増額見込みは考えてらっしゃるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 今のところ平成27年度については増額の予定はございませんが、今後認定こども園あるいは新制度の幼稚園のほうに移行されますと、今度はこちらの幼稚園費のほうではなく保育所と同様に教育保育施設費のほうからの支出になってくるかと思えます。そのときにはそちらのほうでの補助金等で対応することになると思えます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） もう一回戻りますが、189ページ一番上にある幼稚園就園奨励費補助金

ということについての理解ですが、これは子どもさんを預けている親に対してではなくて幼稚園に支払われるという私、理解をしておるわけですが、違うんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 下が幼稚園、上は個人……。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） いや、上。

○委員長（門田直樹委員） 上。

（「もらいよる」「年収が高いというだけで……」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） もらいよる。わかりました。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

簡単に。

○保育児童課長（中島康秀） 就園奨励費につきましては、幼稚園に就園している子どもがいる世帯に対しての支給になっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

188ページ、10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費、ずっと行きまして193ページの2目教育振興費まで含めて質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 2点お願いしたいんですが、まず最初にですね、189ページの賃金のところですが学校図書事務職員、これが週5日いつているんだと思いますが、1日勤務時間はどの程度なのでしょうか、時間数。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） お答えいたします。

学校図書事務職員の勤務時間は学校によって若干違いがございますけれども、1日5.5時間の勤務でございます。大体朝9時、10時ぐらいから昼3時ぐらいまでの勤務時間でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 193ページの151の委託料、工事設計監理等委託料ですが、この分について全小学校教室の委託料の部分ですが、その内訳を教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 委託料の工事設計監理等の委託料の内訳ですけれども、これは平成27年度にします営繕工事の部分、それと国分小学校の増築関係の設計、それと空調関係の設計監理を含んでおります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） その内訳と金額を教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 金額につきましては、入札等もまだ未執行ですのでお答えはちょっとご遠慮させていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） そういう問題ですかね、予算としてどういう種類はあるんですか。例えば、全小学校教室の空調設備の委託料が幾らかという予算額を教えてください。当然これ載せないかんでしょう。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 予算額につきましては合計では1,190万円になっておりますので、詳細につきましてはまだ執行前でございますので回答は控えさせていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） そういうことであれば。3件ということですね、3件ですね。わかりました。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません、今の関連の国分小の増築というのは何クラス分というふうを考えてありますか。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 今のところ平成28年度には1クラスぐらい不足するということですが、将来的にも増えますのでそこところを今また推計もとりながらクラス数は検討していきたいというふうに思っております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、10款教育費、3項中学校費、1目学校管理費、192ページですね。それから……。神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません。小学校費でもいいですか。

○委員長（門田直樹委員） いいですよ。ページを教えてください。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません。189ページ小学校管理運営費の中の需用費に係るところですが、資料請求で5ページ、各小学校の事務費ということで出しているんですけれども、学校のほうでこの予算がなかなか足りないということで苦勞をされているみたいなんで

すけれども、ほかの自治体と比べても多いとは言えないというようなことを聞いていますけれども、この点は学校側からどのようなお話、ちょっと足りないというようなお話があっているのか、また今後増額とかというのを考えてあるのか、その点お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 11節の需用費の予算が足りないというふうなお話というのは全ての学校からあるわけではございません。学校によってはもう少し増額をしてほしいとかそういうふうな話がございますけれども、現在のところ特に近隣の市町と比較いたしましても特別低い予算ではございませんので、この金額でいこうと思っておりますし、学校のほうで特別な授業等をするようであれば増額等もありますので、そういったところで対応していきたいというふうに考えております。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 特別に授業がまた増えるとかというような場合は年度途中でそれは受け入れは可能ということですか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 年度途中で特にその授業を行うということはほとんどございません。やはり次年度の予算を要求する際に出していただきますので、基本的には新年度予算を作成する際に学校等の要望をお聞きしまして予算計上を進めていく予定でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ちょっと、皆さんお諮りします。

何とか今日、歳出を終わらかしたいと思うたりしよんですが、どうしますか。もう4時になりましたが。協議会のほう、協議会ですかね。

（「はい、議員協議会」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 議員協議会は10分ぐらいでという予定だそうですが、どうします。あと30分ぐらい、行きますか。

（「頑張りましょう」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 頑張りますか。進めていいですか。休憩する。

（「休憩入れましょう」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 休憩入れましょう。じゃあ今ちょうどかな。

（「そうですね、15分ぐらい」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） じゃあ、15分まで休憩します。

休憩 午後4時01分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後4時14分

○委員長（門田直樹委員） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 先ほどの太宰府東小学校に導入予定のタブレット端末の関係でございますが、今のところ無線LAN環境にして授業をとり行っていく計画でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） じゃあもう少し。周波数帯域というのは何GHzとかわかります。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 細かいところまでは今の段階では私調べておりません。申しわけございません。

○委員長（門田直樹委員） わかりました。そういうのはしかし父兄の了承というか、敏感なわざわざ東小でという気もせんじゃないんやけれども。特にそれを使う授業に当たって父兄の同意を得るようなことは別に考えておられないんですかね。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） このタブレット端末あるいはデジタル教科書、電子黒板を使うというところで体に影響があるというふうな見解は今のところありませんので、そういう形でやっついこうというふうに考えております。

○委員長（門田直樹委員） わかりますけれどもね、今までのずっと繰り返しをそれをやったから。ただ、わざわざ太宰府東小学校で何でやるのかなという気も。わかりました。また何かの機会があったらお聞きします。

社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 済みません、今さっき193ページの小学校施設整備費の中の委託料、工事設計監理等の委託料の中で3件と申し上げておりましたけれども、2件でしたのでおわびをいたします。どうも申しわけございません。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 済みません、国分小学校の設計監理料は私が入っと思いましたが、勘違いいたしておりました。どうも申しわけございません。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですね。

（「じゃあ国分小じゃなくて、何なの」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 2件はですね、営繕工事と空調関係の設計監理業務委託です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

それでは、続きます。

192ページ、10款教育費、3項中学校費、1目学校管理費、192ページから197ページまでの2目教育振興費まで含めまして質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） また同じですが、197ページの151、委託料です13節の。工事設計委託料

の内訳をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 中学校のほうは営繕工事の設計と空調関係の設計と、太宰府西中学校のほうのプール改修の設計監理業務委託の費用でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

196ページ、10款教育費、4項社会教育費、1目社会教育総務費、ページがずっと行きまして201ページまでですね。1目について質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 199ページ、いきいき情報センター管理運営費、私以前からいきいき情報センターのコピー機が古いということで13年とか17年使っておるという話がありましたが、コピー機は新しくなるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） いきいき情報センターの2階に置いてありますコピー機については、平成27年度入れかえの予定となっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 平成27年度というのはいつのことなんですか。

○委員長（門田直樹委員） この予算じゃないの。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） いつ、入れかえられるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 月ですか。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 何月。

○委員長（門田直樹委員） 入れかえ時期ね。

文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 済みません、ちょっと月までは把握しておりません。

○委員長（門田直樹委員） わからないということですね。

よろしいですか。

ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 199ページ、140社会教育団体支援費の一番下の通学合宿推進補助金なんですけれども、今市内で1カ所ですかね、されているのが。これは、今されているところを継続してされるのか、また別のところでも展開を今後されていく計画なのか、そのところをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 通学合宿の推進につきましては、これは補助金として上げております。運営のほうは自治会とかが運営されておりますので、自治会のほうの実行委員会とか立ち上げられますので、そちらのほうで検討されると思います。それと、現在上げている予算は2カ所今のところ計画をしております。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 通学合宿の今の2カ所運営ですね、自治会のほうとか地域の方が取り組んでされているんですけれども、これは今後その自治会のほうにしませんかというふうに声をしていくのか、されるんだったら補助を出しますよというようなスタンスか、どちらでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） これにつきましてはですね、運営するためにはいろいろ難しい問題がありますので、私としては各自治会でしてもらったほうが子どもの教育のためにはいいと思いますので、してもらいたいですけれども、ただ運営のほうでは、大変ご苦労をかけるので、なかなかそこまではちょっと言いにくいというようなところはあります。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 130の19なんですけど、負担金、補助金及び交付金、キャンパスネットワーク会議負担金80万円とあるんですけど、これは学生キャンパスネットワークの活動費なのか、別に学園同士とのキャンパスネットワーク会議の費用なんのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 市と、学生じゃなくて大学ですね、市とそれぞれの大学のキャンパスネットワーク会議への負担金です。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） じゃあですね、結局その負担金というのの活動の内容をどういう方向性を見ているのか、今までずっとこれ上がってきていたんですけども、もうかれこれ10年近くになるんじゃないかと思うんですけど、その80万円の使途というのはどういうふうな形で、学生に戻るんじゃないかと、学園と例えば行政だけでやっているということですか。その内容をちょ

っと教えてもらえませんか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 市から80万円と各大学から10万円ずつ、それでキャンパスネットワーク会議の会費というか、予算として、その中で、大きなものは例えばキャンパスネットワーク情報ということで年2回広報紙を出しております。あと、その下部組織といいますか、太宰府キャンパスネットワーク会議学生連絡会でキャンパスフェスタをやったり市民まつりへ出たり、そういったところへ補助金というか、学生連絡会に援助したりと、そういったところが主な活動費になってきております。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） じゃあ太宰府キャンパスネットワーク会議学生連絡会のほうに助成しているという形なんですね。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） そうです。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） ちなみに、その中で今学校が何校あるのか、学園でいくのか、短大、大学、専門学校とあるんですが、これ今太宰府市内に正確にはどんだけありますか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 平成26年度で7校ですね。大学は大学、例えば筑女さんみたいに大学と短大と持っているところはそれぞれ1校、1校という扱いですね。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） わかりました。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 199ページの141社会教育委員等関係費なんですけど、まず社会教育委員と地域活動指導員、指導主事とあるんですが、済みません勉強不足で、どういった活動をされてある方なのか教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 地域活動指導員につきましては、今現在市役所のほうの社会教育課のほうに1名置いております。それと、南児童館のほうに2名配置をいたしております。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） はい、ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。よろしいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今の賃金のところの指導主事なんですけれども、前年度より金額が増え

ているようなんですけれども、人数が増えているのか、また配置だけが増えているのか、そこ
のところをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 指導主事につきましては、平成27年度から社会教育課のほうに1人
配置を考えております。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） ごめんなさい、社会教育委員は……。

（「どういう人ですか」と呼ぶ者あり）

○委員（長谷川公成委員） いや、答弁がなかった。

（「どういう人で、どういう活動をするのか」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 済みません、社会教育委員は、9名の方が活動をされております。

主に業務といたしましては、教育委員会のほうに社会教育的な活動の助言をするような団体
になります。それで、今平成25年度から平成26年度にかけて、各自治会の状況を調査されて
おります。そして、今現在それを取りまとめをされておりますので、平成27年度中には意見を
取りまとめまして、教育委員会のほうに提言をされる予定でございます。

○委員長（門田直樹委員） 進んでいいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 201ページが一番最後のところ、文化協会補助金50万円について、いい
んですね。

○委員長（門田直樹委員） いいですよ。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） ずっと前から言っているんですが、文化協会の補助金が少ない。一桁違
うんじゃないかと、本当に太宰府の伝統芸術あるいは現代芸術、たくさんの方が入るとるわけ
ですけれども、話を聞くと以前1,000人おった人が500人切ったというような話も聞きますし、
ここは太宰府の伝統文化を守るあるいは新しい文化をつくっていくというところで非常に大事
なところだと思います。話を聞くと那珂川町は200万円近くあるような話も聞くんですが、こ
このところはもうちょっと何とか増額できないんでしょうかということをやっと言ってきた
んですが、ずっと50万円に来ていたということなんですが、どうなんですか。今はもう
本当高齢化して会員も減っている、もうちょっとここは力を入れるところではないかと思うん
ですが。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 確かに補助金につきましては50万
円が変わっておりません。会員の減少ということもここ数年減ってきておったんですが、平成
26年度からまずは会員を少しでももとに戻すというか、また増やしていこうということで文化

協会会長さんを初め役員の皆さんと文化学習課もお手伝いする形で、また再度、やめられた方に声をかけたり、そういったことでまずは実績というか、活動を、会員をまた増やしていったら広がっていく。当然そうなればまたそこで活動がなされれば、補助金がどうのこうのという話が出てくるかとも思いますけれども、まずはそういった会員をまた再度増やして活動を広げていくということで文化協会とは連携してやっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 以前このところに少年少女合唱団とかブラスバンドというのがあったわけですが、私はやっぱりいろいろな行事に貢献するというのでいえばブラスバンドの支援というのは大いにあり得ることじゃないかなと思っているのですが、そのあたりはどうなんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） いわゆる市民吹奏楽団ですかね。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そうです。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 補助金としてはなくなっておりますが、例えば平成26年度でいきますと12月に市民ホールでコンサートを開かれました。そういったときの費用ですね。まず会場使用料を免除、そして舞台補助員等については市のほうからお出しするというので援助しております。その当日の運営とかでもチケット切りとかそういったのを市の文化学習課でお手伝いして、そういったところでバックアップはしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。

200ページ、2目青少年教育費、203ページまでですが、2目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 202ページ、3目青少年対策費、205ページ、4目の図書館費まで質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） これも同じく先ほどと一緒になんですが、図書館のコピーが古いということとを申し上げとったんですが、どんなふうになりますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 図書館のコピー機については平成27年度に新しく入れかえる予定はございません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） かえていただきたいと思います。古いです。

○委員長（門田直樹委員） 要望ですね。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。

204ページ、5目公民館費、ずっと行きますして209ページまで、5目質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、213ページまでですが、6目、7目について質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 211ページ、水城跡整備事業費、一番下のほうに細目13工事設計監理等委託料と、15工事請負費、合わせて1億6,500万円ぐらいのこの分が、水城跡保存整備基本設計の中にある東門の土塁の延長と展示場の関係に使うということでございましたんですが、一般質問でも不十分なあれでしたんですが、現実にはいっぱいいろいろなものが残っているのに、その展示場を果たしてつくる意味があるのか、あるいは土塁を延ばす意味があるのか、そのあたりについて聞いているわけですが、そもそもこの計画自身が、聞きますと水城の保存整備だけとして立てられていて、やっぱり観光なり交通なり産業なり、いろいろな複合的なものとして考える必要があるんじゃないかということを申し上げてきたんですが、もうちょっと総合的に私は検討する必要があるんじゃないかというふうに思っているわけなんです、これで進められるのかどうかをお聞きいたします。

○委員長（門田直樹委員） 文化財課長。

○文化財課長（菊武良一） ご質問の件に対してお答えいたします。

まずもって、水城跡の整備につきましては委員さん方ご承知のとおり、この半世紀公有化ということで史跡の保存に努めてきたところでございます。やっとならから整備という形で地域の方々に初め来訪者の方々に還元をするということで、史跡の活用というところに向けて整備をしていきたいということですので、今回提案させていただいております水城跡の実施設計につきましては、福岡県、大野城市とともに歩調を合わせて整備計画をつくったものでございますので、現在としてはこの計画をですね、粛々と進めさせていただきたいというふうに存じております。

それともう一点、史跡の計画ではございますけれども、要所要所に周辺の交通網の整備であるとか駐車場の確保であるとか、そうしたものでこの計画にうたっておりますので、総合的

な史跡の活用ということに向けまして整備を進めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 平成26年度、史跡の買い上げ地の中に水城三丁目の田んぼ4枚、800坪、1億5,000万円という史跡の買い上げをこの平成26年度中にするようになってるわけですが、この東門と隣接してそこの関連した計画というのはされてあるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 文化財課長。

○文化財課長（菊武良一） 具体的に今言われました土地についてはですね、当面史跡の見学用の広場であるというふうな形で活用を図りたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 広場ということは、何か造成工事か何かされるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化財課長。

○文化財課長（菊武良一） 広場ですので当然そういった、今田んぼですので田んぼの中では車等も入れませんし人も入れませんので、最低限の工事は必要だろうというふうに考えております。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） それはこの平成27年度予算の中には入っているんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化財課長。

○文化財課長（菊武良一） 平成27年度の計画の中には、今言いました土地の分は含んでおりません。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、7目までについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、本日は一般会計の10款4項7目までとし、3日目の予算特別委員会は16日午前10時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 本日はこれもちまして散会いたします。

散会 午後4時34分

~~~~~ ○ ~~~~~

1 議 事 日 程

[平成27年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成27年3月16日

午前 10 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第28号 平成27年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第29号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第30号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第31号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第5 議案第32号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第6 議案第33号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について
日程第7 議案第34号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について
日程第8 議案第35号 平成27年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第9 議案第36号 平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（17名）

| | | | |
|-----|------------|------|------------|
| 委員長 | 門 田 直 樹 議員 | 副委員長 | 原 田 久美子 議員 |
| 委員 | 陶 山 良 尚 議員 | 委員 | 神 武 綾 議員 |
| 〃 | 上 疆 議員 | 〃 | 芦 刈 茂 議員 |
| 〃 | 小 畠 真由美 議員 | 〃 | 長谷川 公 成 議員 |
| 〃 | 藤 井 雅 之 議員 | 〃 | 後 藤 邦 晴 議員 |
| 〃 | 不 老 光 幸 議員 | 〃 | 渡 邊 美 穂 議員 |
| 〃 | 小 柳 道 枝 議員 | 〃 | 佐 伯 修 議員 |
| 〃 | 村 山 弘 行 議員 | 〃 | 福 廣 和 美 議員 |
| 〃 | 橋 本 健 議員 | | |

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（35名）

| | | | |
|----------|---------|---------------------|---------|
| 市長 | 井 上 保 廣 | 副市長 | 平 島 鉄 信 |
| 教育長 | 木 村 甚 治 | 総務部長 | 濱 本 泰 裕 |
| 地域健康部長 | 古 川 芳 文 | 市民福祉部長 | 中 島 俊 二 |
| 建設経済部長 | 辻 友 治 | 上下水道部長 | 松 本 芳 生 |
| 教育部長 | 堀 田 徹 | 会計管理者 | 今 泉 憲 治 |
| 総務課長 | 友 田 浩 | 経営企画課長 | 山 浦 剛 志 |
| 公共施設整備課長 | 原 口 信 行 | 管財課長 | 久保山 元 信 |
| 防災安全課長 | 宮 原 広富美 | 人権政策課長兼
人権センター所長 | 諫 山 博 美 |

| | | | |
|----------|---------|------------------------------|---------|
| 元気づくり課長 | 井 浦 真須己 | 文化学習課長併
中央公民館長併
市民図書館長 | 木 村 幸代志 |
| スポーツ課長 | 大 塚 源之進 | 市 民 課 長 | 田 村 幸 光 |
| 税 務 課 長 | 吉 開 恭 一 | 納 税 課 長 | 伊 藤 剛 |
| 福 祉 課 長 | 阿 部 宏 亮 | 保 育 児 童 課 長 | 中 島 康 秀 |
| 介護保険課長 | 平 田 良 富 | 国 保 年 金 課 長 | 永 田 幸 |
| 都市計画課長 | 今 村 巧 児 | 建 設 課 長 | 眞 子 浩 幸 |
| 観光経済課長 | 大 田 清 蔵 | 社 会 教 育 課 長 | 井 上 均 |
| 学校教育課長 | 森 木 清 二 | 文 化 財 課 長 | 菊 武 良 一 |
| 上下水道課長 | 石 田 宏 二 | 施 設 課 長 | 加 藤 常 道 |
| 監査委員事務局長 | 渡 辺 美知子 | | |

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（4名）

| | | | |
|--------|---------|---------|-----------|
| 議会事務局長 | 篠 原 司 | 議 事 課 長 | 櫻 井 三 郎 |
| 書 記 | 力 丸 克 弥 | 書 記 | 山 浦 百 合 子 |

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の予算特別委員会を再開します。

本日は一般会計の212ページの10款4項8目から始めます。

それでは、212ページ、8目文化財活用費、215ページまでですが、8目について質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 昨年が水城1350年ということで、今年に引き続きまして大野城1350年に実行委員会の負担金という形であるわけですが、具体的にこの中ではどのような企画を考えてあるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 文化財課長。

○文化財課長（菊武良一） 大野城1350年の実行委員会の事業といたしましては、まず12月5日の日に大野城市でシンポジウム等を開催する予定にさせていただいております。そのほか、来年度古代山城サミットが基山町で行われる予定ですので、相乗り事業という形で協力をしていきたい。そのほか、パネル展示等の巡回展を予定させていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 市民からの意見ですが、大野城市から四王寺山に登る道はとても整備されているけれども、太宰府からの道は倒木とかがあってなかなか通れないところがあるというふうなご意見を聞くことがあるんですが、せっかくこういう年なんですんで、道の整備もしっかりやっていただきたいという要望です。

○委員長（門田直樹委員） 要望。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

それでは、214ページの9目文化財調査費、ずっとページが219ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、218ページ、10款教育費の5項保健体育費、1目保健体育総務費、資料要求も出ていますが、1目について221ページまで質疑はございませんか。

原田委員。

○副委員長（原田久美子委員） 221ページの19の体育の日行事補助金がありますけれども、これは何か所、今現在でよろしいんですけれども、何か所開催されて、開催されなかった場合の中止になった場合ですね、返金があるのかどうか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 体育の日の事業につきましては、6校区で行われております。雨が降った場合については事前に補助金をもうお渡しして準備のほうにかかられておりますので、そこで使われた分についての返金というのはなかなかできませんが、それ以外で余った分については返金していただくようにしております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 2019年がラグビーワールドカップ、2020年が東京オリンピックということで、あと5年ほどあるわけですが、ここで聞くのがふさわしいと思うのでお聞きしますが、やっぱり太宰府からラグビーなりオリンピックに出るような選手の育成、そのあたりのことは何か予算的などころ、あるいは考え方の柱として立っているんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 現在、ラグビーにつきましては、少年ラグビーが幼稚園から中学生まで行われております。そういう中学校を卒業した子どもたちが高校へということで、高校もラグビーの有名な高校に進学しております。その中で選手として、選抜されていくということが可能であれば、そこで学校のほうで選ばれていくんじゃないかなと思っておりますが、今回梅林アスレチックスポーツ公園のほうの人工芝化も行いましたので、そこで十分に子どもたちの育成を図っていききたいなと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

済みません。私から1点、体育協会の補助金ですが、420万円ということで、かなり増額しておると思うんですが、今度法人化を果たされまして、組織の内部の見直しですね。体制の見直し等もあるようですけれども、また同時に子どもから大人まで1人100円の年会費を取っていたわけですね。それが今回3倍になるということで、ちょっと若干その影響もあるようですが、この増額分というのは、これ法人化に当たっての特別というか、一過性のものなのか、それとも今後もこういった額でいくのか、ちょっとその辺のところを聞かせてください。

スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 今回、体育協会が一般社団法人に変わります。現在先ほど委員長が言われましたとおり会費が100円でした。それを今回法人化に伴いまして300円の値上げということと、また法人化に伴いまして事務量が増えてきます。それに伴う事務員さんの費用であったり、また法人化に伴ういろいろな事業をですね、今後展開していただくということで予算を上げております。どれだけ続くのかということで今の段階ではちょっとわかりませ

んけれども、今後指定管理とかいろいろな部分について積極的に体育協会のほうにもお願いして、できるだけ自主財源をためていってもらうような形で、体育協会自体は将来、市の補助金に頼らない組織に変わっていこうということで考えておられますので、一過性ということで考えてもらってよろしいかなと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） わかりました。

それでは、220ページの2目施設管理運営費、223ページまでですが、質疑はございませんか。

原田委員。

○副委員長（原田久美子委員） 223ページ、15節工事請負費、この分はどこの部分か、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 現地域包括支援センターが今度体育館が新しく建ちます関係上、地域包括支援センターの外壁工事を今度行うようにしております。将来的には体育複合施設と一体化ということでの管理を、やっっていこうと思っておりますので、体育館等とも調和したような色にですね、変えていくということで今回工事費を上げさせていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

原田委員。

○副委員長（原田久美子委員） それでは、223ページの中で松川のグラウンドのトイレ等はどういうふうな形で予算化されているのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 松川のグラウンドにつきましては、今現在、トイレの工事ももう行っております。3月末には工事が完了するようになっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 原田委員。

○副委員長（原田久美子委員） ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 委託料なんですけれども、梅林アスレチックスポーツ公園の管理は施設管理委託料の中に入るのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） はい、そのとおりでございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 管理人は何人置かれるのかと、あと管理人を置かれることによって今の開放している時間があると思うんですけれども、それは今までどおりなのか、もう少し延長が

できるのか、その点をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 管理人につきましては、常駐で1名を置くようにしております。

あそこが事前の予約と、管理人を置くことによって当日の受け付けもできるということで考えております。開園時間につきましては、公園の部分とグラウンドの部分がございますので、グラウンド部分については朝9時から日没までということで考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 梅林アスレチックスポーツ公園の人工芝化でサッカー、ラグビーが使えますね。スライディングしたときに人工芝というのはやっぱり摩擦が起きて、やけどをすることでちょっと心配もあるんですね。その辺の対策は何か考えていらっしゃいますか。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 常駐しております管理人さんのほうにメンテナンスもお願いしながら、また本格的なメンテナンスを、年に1回はやらなくちゃいけないと思っておりますので、その折に補填材とか入れながら、芝を起こしていく作業をやっていこうと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そのところの委託料のところですが、史跡水辺公園指定管理料、これについては4月から（公財）太宰府市文化スポーツ振興財団に移るということだったんですが、約5,000万円近くのお金ということになるんだと思うんですが、これは大体どのくらいの人員で施設を運営する予定なんですか。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 現在、シンコースポーツが指定管理を受けておりますが、今まで受けておりましたシンコースポーツと同じような体制がとれるような形で人員配置を行うように考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 具体的に。

○委員長（門田直樹委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大塚源之進） 受付業務は、常時2名が受付のほうにおけるような形と、そこにおける責任者、それとプールの監視員等をローテーションで回していくと思いますので、人数的には大体受付業務に人員が大体7名から8名ぐらいで回すということと、監視員につきましては

大体10名程度ぐらいで回していくということで考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

それでは、11款災害復旧費、1項文教施設災害復旧費、1項1目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2項、3項、ちょっとページも行きまして、225ページの3項、4項までについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、224ページ、12款公債費、1項公債費、1目、2目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、14款予備費、1項予備費、1目予備費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳出の審査を終わります。

18ページ、歳入に入ります。

1款市税、1項市民税について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 続きまして、2項固定資産税について質疑はありますか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 固定資産税ですけれども、これについて減額の理由を説明ください。

2,420万円ですかね。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） 固定資産税につきましては、前年比で2,400万円、0.79%の減額を見込んでおります。1節の現年課税分でございますけれども、平成27年度が3年に1度の固定資産税評価がえの年でございます。今回の評価がえでは、地価につきましてはほぼ横ばい状態であること、それから新增築家屋の増加ですとか、再建築価格の見直しなどによりまして家屋の評価減を補っているようなことから、現年分につきましては約1,000万円の減額というふうに見込んでおります。

それから、2節の滞納繰越分でございますけれども、こちらにつきましては過去の実績に基づいた額を計上させていただきまして、前年度比で約1,400万円の減額というふうに見込んでおります。細かな増減要因につきましては、土地につきましては地価の変動によるものが、

400万円の減、それから土地に係る負担調整措置の廃止ということで2,200万円の増、それから土砂災害特別警戒区域の指定ということでレッドゾーンに指定された土地についての減価補正をしておりまして、これが900万円の減、それから家屋につきましては評価がえで約7,600万円の減、新築住宅等の増で約2,300万円の増、それから新築軽減が切れる家屋がございますので、これが約1,650万円の増、家屋の滅失による減ということで500万円の減、それから償却資産につきましては償却資産の減価償却等を見込んでおりまして、約550万円の減ということでございます。そのほかに若干の誤差がございますので、全体で2,400万円ほどの減ということで考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。はい。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） ちょっと聞きそびれたんで済みません。もう一つ前の市民税なんですが、いいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） はい、どうぞ、許可します。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 法人税が5,200万円ということで、大体10年間ぐらい太宰府の法人市民税は4億5,000万円前後で推移してきたと思うんですが、今回5,000万円減るといえるか、そういう予算になつるといえる理由は何なんですか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） 前年度比で約5,200万円ということで11.75%の減額ということで見込んでおります。1節の現年課税分でございますけれども、平成26年度の税制改正によりまして法人市民税の法人税割の税率引き下げがございました。これが税率といたしましては14.7%から12.1%へ2.6%の引き下げということになりますけれども、引き下げ率でいきますと17.69%ということでかなり大きな影響を及ぼしております。これに基づきますものが約2,500万円の減というふうに考えております。

それから、高額納税事業者等の移転につきましてですね、こちらのほうの影響もございまして、約2,700万円ほどの減というふうにこちらのほうは見込んでおります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） それでは、2項までよろしいですね。

続きまして、1款市税、3項軽自動車税、同じく4項市たばこ税につきまして質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 軽自動車税について2点伺わせていただきます。

まず、前年比の比較して300万円ほど伸びていますが、その要因を1点目と、それと滞納繰り越し処分のこの金額につきましては大体何台分の金額で、これは延滞金まで含んだ金額というふうに理解していいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） 軽自動車税でございますけれども、前年比で約330万円ほどの増でございます。3.45%の増でございますけれども、小型普通自動車のほうからですね、軽自動車への乗りかえが進んでいるということで、自家用の軽四輪自動車の登録台数が非常に伸びてきております。その関係で330万円ほどの増ということで考えております。

それから、過年度分につきましては一応前年度等の実績に基づいた形で計上させていただいておるところでございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 済みません。その過年度分のこれに関しては延滞金まで見越した金額なのかというのを再度確認したいのと、あと軽自動車税の増税の関係の部分も次年度以降、この平成27年度じゃなくて平成28年度以降どんどん反映されてくると思うんですけれども、今現在の状況として平成27年度は当初330万円プラスということでしたけれども、これが今後、どのぐらいまで行くのかということを経済課としてシミュレーションのようなものがされているんだったら差しさわりのないようでしたら、その金額まであわせて示していただきたいと思えます。

○委員長（門田直樹委員） 税務課長。

○税務課長（吉開恭一） まず、滞納繰り越し分につきましては、これはあくまでも税額だけの収入ということでございます。延滞金についてはこの中に入っておりません。それから、税制改正等に伴う影響でございますけれども、済みません、ちょっと今手元に資料が見当たらないんですけれども……。

○委員長（門田直樹委員） 後でいい。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） はい、結構です、はい。後で結構ですので、はい。

○委員長（門田直樹委員） じゃあ、後で概要がわかれば報告できますか。

税務課長。

○税務課長（吉開恭一） はい。ちょっと話が変わります。全員協議会を20日の日開催されますけれども、その中で税制改正に関しては説明をさせていただこうと思っておりましたので、その中でも報告させていただきたいと思えます。

○委員長（門田直樹委員） わかりました。よろしいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） はい。

- 委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、18ページ、1款市税、5項都市計画税、1目都市計画税について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、6項入湯税について質疑はありますか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、7項歴史と文化の環境税について質疑はございませんか。  
よろしいですか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、2款地方譲与税、1項地方揮発油譲与税、1目について質疑はありますか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） 続いて、2項自動車重量譲与税について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、3款利子割交付金、1項利子割交付金、1目、23ページまでについて質疑はありますか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、5款株式等譲渡所得割交付金について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、6款地方消費税交付金、1項地方消費税交付金、1目について質疑はございませんか。  
神武委員。
- 委員（神武 綾委員） この地方消費税交付金については1億2,000万円、前年度から予算が増えているんですけども、この使い道については社会保障の施策に使うというようなことで通達があっていると思うんですけども、そのような考え方をされているというふうに認識しておいてよろしいでしょうか。
- 委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。
- 経営企画課長（山浦剛志） 基本的にそちらほうに充当はさせていただくような形で考えております。  
以上でございます。
- 委員長（門田直樹委員） いいですか。  
神武委員。
- 委員（神武 綾委員） はい。

- 委員長（門田直樹委員） それでは、進みます。  
22ページ、7款ゴルフ場利用税交付金について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、8款自動車取得税交付金について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、9款地方特例交付金、1項1目、25ページまでですが、9款について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、10款地方交付税、1項1目地方交付税について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、11款交通安全対策特別交付金、1項1目について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、12款分担金及び負担金、2項負担金、1目、2目、3目、27ページまでですが、12款2項について、負担金について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、12款分担金及び負担金の廃項分担金、農林水産業費分担金が廃目になっておりますが、この件について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） 13款使用料及び手数料、1項使用料、1目、2目27ページまでについて質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、28ページ、13款使用料及び手数料、1項使用料、3目、4目、5目、6目、7目、8目までですね。もう最後、31ページまでですね。1項使用料に関して質疑はございませんか。よろしいですか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、32ページ、13款使用料及び手数料、2項の手数料、1目、2目、3目、4目ございますが、質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、14款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、32ページから35ページ及び2目の衛生費国庫負担金までについて質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、14款国庫支出金、2項国庫補助金、1目、2目、37ページの3目、4目、5目の教育費国庫補助金までについて質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、14款国庫支出金、3項委託金、1目総務費委託金、36ページから39ページまでですね。2目の民生費委託金まで質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、15款県支出金、1項県負担金、1目、2目、3目の県事務費交付金まで質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、15款県支出金、2項県補助金、1目、2目、3目、4目、5目、もう43ページの7目、8目、最後の労働費県補助金のマイナスまで質疑はございませんか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、15款県支出金、42ページですね。3項委託金、1目総務費委託金、45ページの7目教育費委託金まで質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、16款財産収入、1項財産運用収入、1目、2目、ページが44ページから47ページまでですが、1目、2目までについて質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、46ページの16款財産収入、2項財産売却収入、1目不動産売却収入について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 17款寄附金、1項寄附金、1目、2目、3目教育費寄附金まで質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、18款繰入金、1項基金繰入金、1目、ページが49ページまでですね。1目の基金繰入金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、19款繰越金、1項1目繰越金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 20款諸収入、1項延滞金・加算金及び過料について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、20款諸収入、2項市預金利子、48ページの1目から51ページまでの貸付金元利収入について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（門田直樹委員） それでは、20款諸収入、4項雑入、1、雑入について質疑はありませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 雑入の総務費の雑入1億300万円ぐらいありますが、大きなものを1つ教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） 主なものでお答えをさせていただきます。管財課の関係で光熱水費とか、あと一部事務組合とかに派遣をしております派遣職員の人件費ですね。あと、いきいき情報センターの共益費などがございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

上委員。

○委員（上 疆委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

管財課長。

○管財課長（久保山元信） 光熱水費はいきいき情報センターの光熱水費でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。はい。

それでは、21款市債、1項市債、1目、2目、3目で50ページから53ページ、6目及びマイナス民生債まで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。はい。

以上で歳入の審査を終わります。

次に、9ページの第2表債務負担行為について質疑はありませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、10ページの第3表地方債について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、226ページ、227ページの給与費明細書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、228ページから244ページまでの各調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳入歳出全般について質疑はありませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 済みません。聞き忘れがございまして、歳出のほうですね。77ページです。991の総合教育会議関係費というのが初めて上がってきたような気がするんですが、内容

がよくわかりませんので教えていただきたいのと、その委員さんが何名おられるのか、どういう方がおられるのかを教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） 総合教育会議についてご説明申し上げます。

総合教育会議は、教育委員会制度の改革の一環として新年度から設置されるものでございます。内容といたしましては、予算の権限などを持つ首長と教育委員会の各委員さんとの意思疎通を図るために緊密な連携を持つということによりよい教育を進めていこうとするものでございます。

今、ご質問がございました会議の構成ですけれども、首長と教育委員会の各委員さんとなっております。招集につきましては首長が行うことになっておりまして、会議は原則公開とされております。また、あわせまして議事録の作成も義務づけられております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。はい。

ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません。小学校のほうで110番の家プレートとかですね、あと1年生に対して防犯ベルを配布したりしていると思うんですけれども、これについて教育関係費のほうから出ているのか、防犯のほうから出ているのか、済みません。項目がわかりませんでしたのでお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（宮原広富美） 防犯のほうからは特に支出の予算はございません。

○委員長（門田直樹委員） ということはいいですか。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 学校教育課のほうも特に支出の予算はございません。これは団体のほうからの寄贈が主なものだと思います。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから意見交換を行います、ご意見はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 意見交換を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 提案されております平成27年度の太宰府市の一般会計予算につきまして、は反対の立場で討論をさせていただきます。

討論に入ります前に、審査資料に対応していただきましたこと、ありがとうございます。

昨年4月の消費税8%への増税と円安誘導による物価高が今、暮らしと経済を直撃し、社会保障への国庫負担の削減は医療崩壊、介護難民を深刻化させ、重たい社会保険料の負担に市民は悲鳴を上げています。実際に、昨年日本共産党市議団が取り組みました市政アンケートでも、371通の回答が寄せられましたが、消費税の8%への引き上げを負担に感じておられると回答された方が40%を超えるなど深刻な状況であります。安倍政権は今地方創生やアベノミクスへの地方の波及を声高に叫んでいますが、しかし中身は消費税の増税、社会保障の切り捨て、雇用破壊、TPPの推進であり、この道は地方の衰退をさらに加速させるものを懸念されます。こういった国の政治がひどいときだけに市政が市民の暮らしと福祉を守る防波堤の役割を果たさなければならないと考えます。予算は政治の顔、政治の鏡と言われています。市民の苦しみを解決し、暮らしを応援する予算こそ待たれています。

今回、提案されております平成27年度一般会計予算は、市長選挙を控えている関係で骨格予算ではありますが、この4年間市政運営の中で市民生活、福祉において向上した分野、プラスになった分野も当然見受けられ、それらを発展したものを継続するものが多いということは認識しております。しかし、今期、議員として任期中一貫して反対してきました同和関連の予算で運動団体への補助金や扶助費の支給が引き続き盛り込まれていることから、提案されております平成27年度一般会計予算には同会派の神武綾委員とともに反対することを申し上げて、討論を終わります。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 賛成の立場ではありますが、この今回の骨格予算を出されておりますけれども、ほとんど241億円も出されておまして、本来骨格予算とか暫定予算というのは6月までの部分ぐらいのね、額を出すべきなんだと思うんですが、そういった部分をもう既にほとんどの部分の金額が上がっておる骨格予算というのは本当はおかしいんじゃないかなんかと思ってるし、その中で特にですね、体育館の問題の予算が大分上がっておりますけれども、これにつきましても6月以内に払うことはないんで、もう先の話の部分ですから、骨格予算の中で上げるべきじゃなかったんじゃないかなんかと思っております。

2点ですが、特に市長車購入、600万円も上げておられますが、できるなら300万円、黒塗りじゃなくて白塗りで車を乗っていただきたいなと思ってる場所ですので、市長も考えていただきたいと思っております。

それから、防犯カメラの設置ですが、1カ所100万円しか組んでおりませんので、こういう予算があるならですね、防犯カメラをどしどし計画していきたいということでしたので、増設されるようお願いをして、予算そのものは賛成いたしますので、よろしくお願いします。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 私は反対の立場で討論させていただきます。

議員になりまして4年間、水城選出ということもありまして水城の問題をずっと言い続けてきたつもりであります。残念ながら去年の水城1350年も地域に対する予算というのはほとんど組めていなくて、各自治会に何かやらないのかと聞いてみると、予算がついていないからできないという返事で、地元としてはいろいろな取り組みがほとんどできていなかった状況なわけですが、今年度予算の中に水城の関係の工事費と設計監理委託料ということで1億6,500万円組まれております。私、何度も申しあげましたように、もう土木、建物ということではなくて、やっぱりハードからソフトへ、コンクリートから人へというふうな流れをつくらなきゃいけないけれども、引き続きそういうような方向で進んでいくことの一つのあらわれが水城の整備計画だというふうに私は認識しております。産業や交通と一体となったものを出していく必要があるんじゃないかというふうに考えておりました、やっぱり観光的な意味でいうと、天満宮、政庁跡、水城という多軸的な観光をどう進めていくかというのが私は太宰府にとっての大きな課題だと思っておるわけですが、いろいろな人の意見を聞けば、政庁跡に門を復元するとか、水城に水城の道の駅をつくるとか、いろいろなことを考えられると思うわけですが、そういう複合的な議論なくして、ただ土塁を延ばしてきて展示場をつくるというのは私は要らない工事だと思っておりますので、反対いたします。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第28号「平成27年度太宰府市一般会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

（多数挙手）

○委員長（門田直樹委員） 多数挙手です。

よって、議案第28号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成12名、反対4名 午前10時39分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

進みます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第29号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第2、議案第29号「平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

264ページ、1款総務費、1項1目一般管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2目団体負担金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、1款総務費、2項徴税費、1目賦課徴収費、267ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、1款総務費、3項運営協議会費、1目運営協議会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2款保険給付費、1項療養諸費、1目、ページは269ページまでですが、2目、3目、4目、5目まで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款保険給付費、2項高額療養費、1目、2目、3目、271ページの4目までについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款保険給付費、3項移送費、1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款保険給付費、4項出産育児諸費、1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2款保険給付費、5項葬祭諸費、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、272ページ、3款後期高齢者支援金等、1項1目、2目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 4款前期高齢者納付金等、1項1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 5款老人保健拠出金、1項1目、2目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、274ページ、6款介護納付金、1項1目介護納付金について質疑はございませんか。いいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7款共同事業拠出金、1項1目から5目までですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、276ページ、8款保健事業費、1項1目特定健康診査等事業費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、8款保健事業費、2項保健事業費、1目、2目、279ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9款基金積立金、1項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、10款公債費、1項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、11款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、280ページですね。

12款予備費、1項予備費、1目予備費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳出の審査を終わります。

次に、254ページの歳入に入ります。

1款国民健康保険税、1項1目、2目について質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 全体にかかわる部分でもありますが、審査資料の8ページにも出しているだけであります資格証明書の発行の状況ですので、国保税のこの収入の税のところで質問というか認識だけ基本的なところだけですね、担当課に質問させていただきたいと思いますが、

資格証の発行の状況はこの資料に出していただいたとおりで数字は認識しました。その上で質問いたしますけれども、以前これは議会でも取り上げてきました小・中学生をお持ちの世帯のところへの保険証の取り上げはされていないというふうに基本姿勢として従来の姿勢が維持されているというふうに認識しておいてよろしいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（永田 宰） はい、おっしゃるとおり高校生以下の世代につきましては、その方の短期証6カ月分をきちっと交付しております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 結構です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。はい。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 256ページ、2款1項1目、2目、3目までについてはよろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款国庫支出金、2項国庫補助金、1目財政調整交付金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3款療養給付費交付金、1項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 4款前期高齢者交付金、1項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、258ページ、5款県支出金、1項1目、2目ありますが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5款県支出金、2項県補助金、1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、6款共同事業交付金、1項1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7款財産収入、1項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、260ページ、8款繰入金、1項1目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9款繰越金、1項繰越金、1目、2目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 10款諸収入、1項1目、2目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、262ページ、10款諸収入、1目から5目までありますが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入の審査を終わります。

次に、282ページ及び283ページの給与費明細書について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、284ページ、285ページの債務負担行為関係の調書について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳入歳出全般について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。

意見はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これから討論を行います。

討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第29号「平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手です。

よって、議案第29号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成16名、反対0名 午前10時47分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第30号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第3、議案第30号「平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

296ページ、1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費及び2目の広域連合負担金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2項徴収費、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、298ページ、9ページ、2款諸支出金、1項1目、2目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 3款予備費、1項予備費、1目予備費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、以上で歳出の審査を終わります。

次に、292ページの歳入に入ります。

1款保険料、1項後期高齢者医療保険料、1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2款使用料及び手数料、1項1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 3款繰入金、1項一般会計繰入金、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 4款諸収入、1項延滞金・加算金及び過料について、1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 4款諸収入、2項1目、2目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 294ページ、95ページの4款諸収入、3項雑入、1目、2目について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5款繰越金、1項1目について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入の審査を終わります。

次に、300ページ及び301ページの給与費明細書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳入歳出全般について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。

ご意見はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第30号「平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手です。

よって、議案第30号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(原案可決 賛成16名、反対0名 午前10時50分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 議案第31号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長(門田直樹委員) 日程第4、議案第31号「平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

まず、保険事業勘定の歳出、320ページです。いいですか。

1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費及び2目の連合会費負担金について質疑はご

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、1款総務費、2項徴収費、1目ですね。323ページまで質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、1款総務費、3項介護認定審査会費、1目、2目、325ページまでですが、1目、2目について質疑はありませんか。
渡邊委員。

○委員(渡邊美穂委員) 介護認定審査会の回数についてちょっとお伺いしたいんですけど、これは今1カ月に1回ぐらいというふうに聞いているんですけど、これで資料要求したところでは相当な回数行われているんですが、現実はどうぐらいの頻度で行われているんでしょう。

○委員長(門田直樹委員) 介護保険課長。

○介護保険課長(平田良富) 介護認定審査会の開催件数のお尋ねということでございますけれども、介護認定審査会は4市1町各市で行われておりまして、太宰府、当市でいいますと週3日から4日、19時から22時まで開催している状況でございます。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) 渡邊委員。

○委員(渡邊美穂委員) 実際これで介護認定が決定されるというのが週3日か4日行われているということでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 介護保険課長。

○介護保険課長(平田良富) そのとおりでございます。

○委員長(門田直樹委員) 渡邊委員。

○委員(渡邊美穂委員) 時々市民から聞くのは、その申請してからですね、認定がおりに1カ月ぐらいかかる場合があって、もう下手すると申請してからおりにまでに亡くなってしまったケースもあるというような話を聞いたんですけど、そういったことはやっぱり現実に起こり得るんですか。

○委員長(門田直樹委員) 介護保険課長。

○介護保険課長(平田良富) 確かに申請から決定出ますまで約1カ月ほどかかっております。その間、急遽使わなくてはならないと介護認定が出るまでということになれば、暫定プランという形で初日にさかのぼって使うことができるというような形になっております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) いいですか。

渡邊委員。

○委員(渡邊美穂委員) はい。

- 委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、324ページ、1款総務費、4項趣旨普及費、1目について
質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、1款総務費、5項運営協議会費、1目について質疑はあり
ませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） 2款保険給付費、1項介護サービス等諸費、1目、2目、327ペー
ジ、3目、4目、5目、6目、7目、8目、9目につきまして329ページの10目特例居宅介護
サービス計画給付費まで質疑はございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、328ページの2款保険給付費、2項介護予防サービス等諸
費、1目から331ページの8目特例介護予防サービス計画給付費まで質疑はございませんか。
渡邊委員。
- 委員（渡邊美穂委員） 資料で9ページなんですけれども、要求させていただきました要支援者
の数がやっぱり年々増えていっているんですが、今朝の西日本新聞にも出ていましたけれど
も、報酬額が引き下げられるということで特に要支援対象の小さな事業所がもう閉鎖してい
るところが続出しているというようなニュースが出ていたんですが、太宰府においてやっぱりそ
ういった小さい施設、事業所があると思うんですが、こういった現状は今担当課では閉鎖に行
っているだろうかとかというような把握はされていますか。
- 委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。
- 介護保険課長（平田良富） 今日新聞に載っておりましたところはデイサービスの小規模なとこ
ろというふうに載っておりました。現在、23カ所太宰府市内にはございまして、小規模と、新
聞では10人以下と書いてありましたけれども、私どもでは18人以下を小規模という言い方をし
ております。それが8事業所ございます。そこで、新聞に載っていたような介護報酬の引き下
げに伴う閉鎖とかという言葉はまだ聞いていないというのが現状でございます。
- 委員長（門田直樹委員） いいですか。
渡邊委員。
- 委員（渡邊美穂委員） はい。
- 委員長（門田直樹委員） 神武委員。
- 委員（神武 綾委員） 小規模の施設を利用されている方は実際いらっしゃって、やっとその施
設になれたんだけれども、やはり運営が厳しくなって閉鎖して、また違うところに行くようにな
ったということで実際に閉鎖したところを聞いたんですけれども、やはりこれから小さな事
業所が運営するのに厳しくなってくると思うんですけれども、そういう事業所の方たちを集め

での意見を聞くなり、何か交流をするような場をこれから考えて、自治体として何か援助ができないかってやっぱり必要なものだと思いますので、そういうことは今後考えられますでしょうかね。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 今、申し上げました18人以下の小さな地域密着型と呼ばれる事業所になります。これが平成28年4月から地域密着型ということで市のほうが管轄ということになりますので、その前にこの8事業所集めまして、いろいろな意見交換しながらやっていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、進みます。

330ページ、2款保険給付費、3項その他諸費ですが、1目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款保険給付費、4項高額介護サービス等費、1目、2目で333ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、332ページの2款保険給付費、5項1目、2目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じく2款保険給付費、6項特定入所者介護サービス等費ですが、1目、2目、3目、335ページ、4目まで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 334ページの3款地域支援事業費、1項介護予防事業費、1目、2目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、336ページ、3款地域支援事業費、2項包括的支援事業・任意事業費、1目、2目、339ページの1目、2目について質疑はありますか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 新年度からの地域包括ケアシステムに関する予算はこのあたりであるというふうに認識していてよろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 地域包括ケアシステムの予算といいますか、新たに介護保険法の改正で出ています部分については、当市のほうは平成29年4月までに実施したいという方針を持っておりまして、具体的に細かな予算というのはここには出ておりません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにはございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、338ページの4款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、340ページ、4款諸支出金2項1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5款基金積立金、1項基金積立金、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、6款予備費、1項1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳出の審査を終わります。

次に、312ページ、歳入に入ります。

1款保険料、1項介護保険料、1目第1号被保険者保険料について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款使用料及び手数料、1項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 3款国庫支出金、1項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 3款国庫支出金、2項国庫補助金、1目から4目まで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 314ページ、4款1項1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 5款県支出金、1項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 5款県支出金、2項県補助金、1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、6款財産収入、1項財産運用収入、1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7款繰入金、1項一般会計繰入金、1目から4目、117ページの5目についてまで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 7款繰入金、2項基金繰入金、1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 7款繰入金、3項介護サービス事業勘定繰入金、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 8款繰越金、1項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 9款諸収入、1項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 318ページ、319ページ、9款諸収入、2項1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9款諸収入、3項雑入、1目から3目までについて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入の審査を終わります。

それでは、11時15分まで休憩します。

休憩 午前11時01分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時15分

○委員長（門田直樹委員） それでは、再開いたします。

それでは、介護サービス事業勘定について歳入歳出一括して質疑を行います。

事項別明細書の350ページからの歳入及び352ページからの歳出について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、保険事業勘定、介護サービス事業勘定の歳入歳出全般について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出予算の質疑を終わります。

次に、342ページ、343ページの給与費明細書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、344ページ、345ページの債務負担行為関係の調書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。

意見はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第31号「平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手です。

よって、議案第31号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(原案可決 賛成16名、反対0名 午前11時16分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第32号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長(門田直樹委員) 日程第5、議案第32号「平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

364ページ及び365ページの1款総務費、2款公債費、3款基金積立金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、以上で歳出の審査を終わります。

次に、360ページ、歳入に入ります。

1 款県支出金、1 項県補助金、1 目について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 2 款財産収入、1 項1 目について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 3 款繰入金、1 項、2 項について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4 款繰越金、1 項繰越金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 5 款償還金、1 項償還金、1 目、363ページの5 目繰上償還金まで質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入の審査を終わります。

次に、366ページの給与費明細書について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、367ページの地方債に関する調書について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳入歳出全般について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。

ご意見はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで意見交換を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第32号「平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手です。

よって、議案第32号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成16名、反対0名 午前11時19分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議案第33号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第6、議案第33号「平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

376ページ及び377ページの1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 1款総務費、2項審査会関係費、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2款予備費、1項1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳出の審査を終わります。

次に、374ページ、歳入ですね。及び375ページの1款分担金及び負担金、1項審査会負担金、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2款国庫支出金、1項国庫補助金、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 3款諸収入について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 7款県支出金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入の審査を終わります。

次に、378ページの給与費明細書について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳入歳出全般について質疑はありますか。

原田委員。

○副委員長（原田久美子委員） 全般についてなんですけれども、この筑紫地区障害支援区分というところで、このやっぱり障害の害はやっぱり漢字で4市1町話し合いの上で害は漢字になっているのかどうか、ちょっとお伺いします。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（阿部宏亮） はい。一応太宰府市の場合は、特に法令等で定めがない場合には極力平仮名の文字を使用するようにしておりますけれども、この分については、一応4市1町統一的な取り扱いになっておりませんので、従来どおり漢字という形での使用をさせていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。

ご意見はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 意見交換を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第33号「平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手です。

よって、議案第33号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成16名、反対0名 午前11時22分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 議案第34号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第7、議案第34号「平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

386ページから389ページの1款総務費、1項総務管理費、同じく2項認定審査会費及び2款予備費の歳出全てについて質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳出の審査を終わります。

次に、384ページ及び385ページの歳入に参ります。

1款分担金及び負担金、2款県支出金の歳入全てについて質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入の審査を終わります。

次に、390ページの給与費明細書について質疑はありますか。

藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) 済みません。ちょっとこれ見方がわからないんですけれども、その他特別職に189人というふうになっているんですけれども……。

○委員長(門田直樹委員) 何ページですか。

藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) 済みません。390ページの給与費明細書ですけれども、これはどういう特別職というのはこういう形になるのはどういう理由なのでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 介護保険課長。

○介護保険課長(平田良富) ここで言う189名というのは介護認定審査会の委員さん、筑紫地区全体で合同でやっておりますので、その方たちの委員さんの人数ということになります。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) 藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) わかりました。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

ほかにないですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。

ご意見はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 意見交換を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第34号「平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手です。

よって、議案第34号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(原案可決 賛成16名、反対0名 午前11時24分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第8 議案第35号 平成27年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長(門田直樹委員) 日程第8、議案第35号「平成27年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題といたします。

ページ順に審査を行います。

まず、1ページ及び2ページについて質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、4ページから8ページまでの収益的収入及び支出について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 水道についての広報とかPRの事業についての支出というのはどこかに計上されているのでしょうか。ちょっと見たところわからなかったので教えてください。

○委員長(門田直樹委員) 上下水道課長。

○上下水道課長(石田宏二) 特に予算立てをしているものはございませんけれども、1つには水道展の開催の費用という形で消耗品として上げている部分がございます。あとは、市広報、市ホームページ、サイネージ等で水道事業関係のPRは行っているところでございます。

以上です。

○委員長(門田直樹委員) いいですか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) はい。

○委員長(門田直樹委員) ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、9ページと10ページの資本的収入及び支出について質疑はございませんか。いいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

次に、11ページの水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、12ページから14ページまでの給与費明細書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは次に、15ページの債務負担行為に関する調書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、16ページから18ページまでの平成26年度水道事業予定損益計算書、水道事業予定貸借対照表について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、19ページから21ページまでの平成27年度水道事業予定損益計算書、水道事業予定貸借対照表について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、22ページ、23ページの注記について質疑はありませんか。

ちょっと1点、私からいいですか。今度の選挙もあることで、いわゆる自宅以外に何か民家等を借りるということで申し込みますよね。そうすると、家庭用か事業用かということで電話でいろいろ話すわけですよ。その辺の判断というのはどんなふうになっとんかな。もう一つは、例えば選挙で私の例で言うと前は自宅を使ったんですよ。自宅でやるんだけど、それは事業、その期間中なりとも事業所になるのか、それとも家庭、実際家庭のままだったんですよ。もし事業所やったらやっぱり差額も払わにやいかんのかなと思ったりもするけれども、現地調査はされているんですかね。それとも、電話でこれこれということで電話の内容で判断して事業所か家庭用かという判断をされているのか、ちょっと聞かせてください。

施設課長。

○施設課長(加藤常道) あくまでも個人の場合は、個人1軒当たりの個人の負担金で一応やっております。あくまで団体、事業所は団体になりますので、やっぱり申請を出していただいて団体とわかるようになりますので、あくまで出ない場合はもう個人でされている場合は個人になると思います。

○委員長(門田直樹委員) だから、そういう書類というのは出してないですたいね。電話でこれこれということで、そういう確認もない。ただ通知が来て初めてわかるんですよ。だから、ここからは要望というか意見だけれども、やはりその現地調査なりね、その利用実態を確認して、それに即した判断をされるべきだと思うんですけどもね。

以上です。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） 申請に基づいて現地確認はそれは当然するんですけども、一応お話を聞いた中で、その家事用程度ぐらいの水量しか使わないとか、そういうことであればもうそのままやると。ただ、大きく人数がこの時間どつと来るとか、水量が大きく変わるよとかということがあれば現地調査させていただいて決定していきたいというふうに思っております。以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） わかりました。

よろしくをお願いします。

ほかにごございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。

ご意見ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 意見交換を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第35号「平成27年度太宰府市水道事業会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手です。

よって、議案第35号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成16名、反対0名 午前11時30分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第9 議案第36号 平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第9、議案第36号「平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題といたします。

ページ順に審査を行います。

1ページ及び2ページについて質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 予算審査資料で800万人と言われる太宰府に来られる観光客が当然来られるからトイレをするわけで、じゃあその具体的な数字というのが下水道量、あるいは下水道使用料の中でどのような形で反映しているのかという数字は出ないんですかと聞いておりましたが、そういう数字は把握しておりませんということと、例えば駐車場から参道、天満宮、国博という流れの中でのトイレの使用される人たちに対しては上水道を使うからそれは下水道に反映しているということで、市としてはそういうことに伴っての損はしておりませんという返事を聞いておるわけですが、水道事業のところを見ると1日平均給水量が約1万5,000m³、1日平均排出量というのが約2万m³というふうになっているんですが、この数字の中に何かそういうものは出てくるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（石田宏二） この数字の中にその部分が観光客の使用量がどれだけかというのは全く把握はできておりませんが、例えば天満宮さんが運営してあるトイレとかの水量等はですね、当然把握をいたしております、天満宮さんだけでも年間2万7,000m³以上の使用がなされているというぐらいで、そのうちの観光客分がどれだけというような水量は、把握はいたしておりません。また、把握できません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。はい。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

次に、4ページから7ページまでの収益的収入及び支出について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、8ページから10ページまでの資本的収入及び支出について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、11ページの下水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、12ページから14ページまでの給与費明細書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、15ページの債務負担行為に関する調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、16ページから18ページまでの平成26年度下水道事業予定損益計

算書、下水道事業予定貸借対照表について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、19ページから21ページまでの平成27年度下水道事業予定損益計算書、下水道事業予定貸借対照表について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、22ページ、23ページの注記について質疑はありませんか。よろしいですか。

済みません。また私から1点、井戸を使ってあるところの世帯のこの料金に関しては人数に応じてということで理解しておるんですが、亡くなったら当然減るわけですよね。料金も下がるべきだけれども、それを別途届けにやいかんということで何か月もか、1年か2年かな、下がらなかったと。聞くと、それは別途届けてもらわにやいかんというけれども、市民としては市民課とかに届けているわけですよね。それがなぜ情報が共有されんのか疑問だということですが、その辺について。

上下水道部長。

○上下水道部長(松本芳生) 水道と下水道は、住基台帳の人数は参考にはしていますけれども、実体という数量で徴収するというのが原則です。それで、水道の場合はもう水量がございまして、それでいいんですけども、下水道の場合の井戸の場合、人数というのがなかなか把握できないというのがあるんですけども、検針票とか、そのお知らせ票とか、それからこちらのほうから納入通知書ですね。それに人数等に変動がある場合にはお知らせくださいというのは毎回お知らせはしているんですけども、その人数によってでしか、こちらのほうの排水量というのが認定できんもんですから。ですから今後のPRとしてですね、広報等回数を増やしながら、そういったところはPRしていきたいというふうには思っております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) わかりました。

ほかにございませんか。

小柳委員。

○委員(小柳道枝委員) 参考までにちょっと教えてもらいたいんですが、以前、自宅から本管に下水をつないでいましたよね。だけれども、今これが今まだつないでいない家があるようなんですが、その進捗状況はどうなんでしょうかね。参考までに教えてください。

○委員長(門田直樹委員) 施設課長。

○施設課長(加藤常道) まだつないでいないところにつきましては、はがきとか、そういうことでつないでくださいということで回しております。年間、やっぱりつないでいない方は二、三件は、一応つなぐ形で進んでおります。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。よろしいですね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。

ご意見ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 意見交換を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第36号「平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手です。

よって、議案第36号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成16名、反対0名 午前11時36分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

これで予算特別委員会に付託されました案件の審査は全て終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ここでお諮りします。

本委員会における審査内容と結果の報告につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） ご異議なしと認め、委員会の審査内容と結果の報告につきましては、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして予算特別委員会を閉会します。

閉会 午前11時37分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

平成27年3月31日

太宰府市予算特別委員会委員長 門 田 直 樹